

莓ましまろまとめ本

ましまろワークス



For Adult

莓ましまろまとめ本

ましまろマークス



もくじ

- 05 ————— Episode.A お姉ちゃんといっしょ
- 23 ————— 作品解説①
- 24 ————— Episode.B 百合?!
- 36 ————— Episode.C 仲良しさん
- 58 ————— 作品解説②
- 59 ————— Episode.D 伸×アナ!
- 71 ————— Episode.E 美羽式マッサージ術 (描き下ろし)
- 81 ————— 短編SS『律動混濁のストロベリー』
- 85 ————— 表紙ギャラリー

ましまろワークス

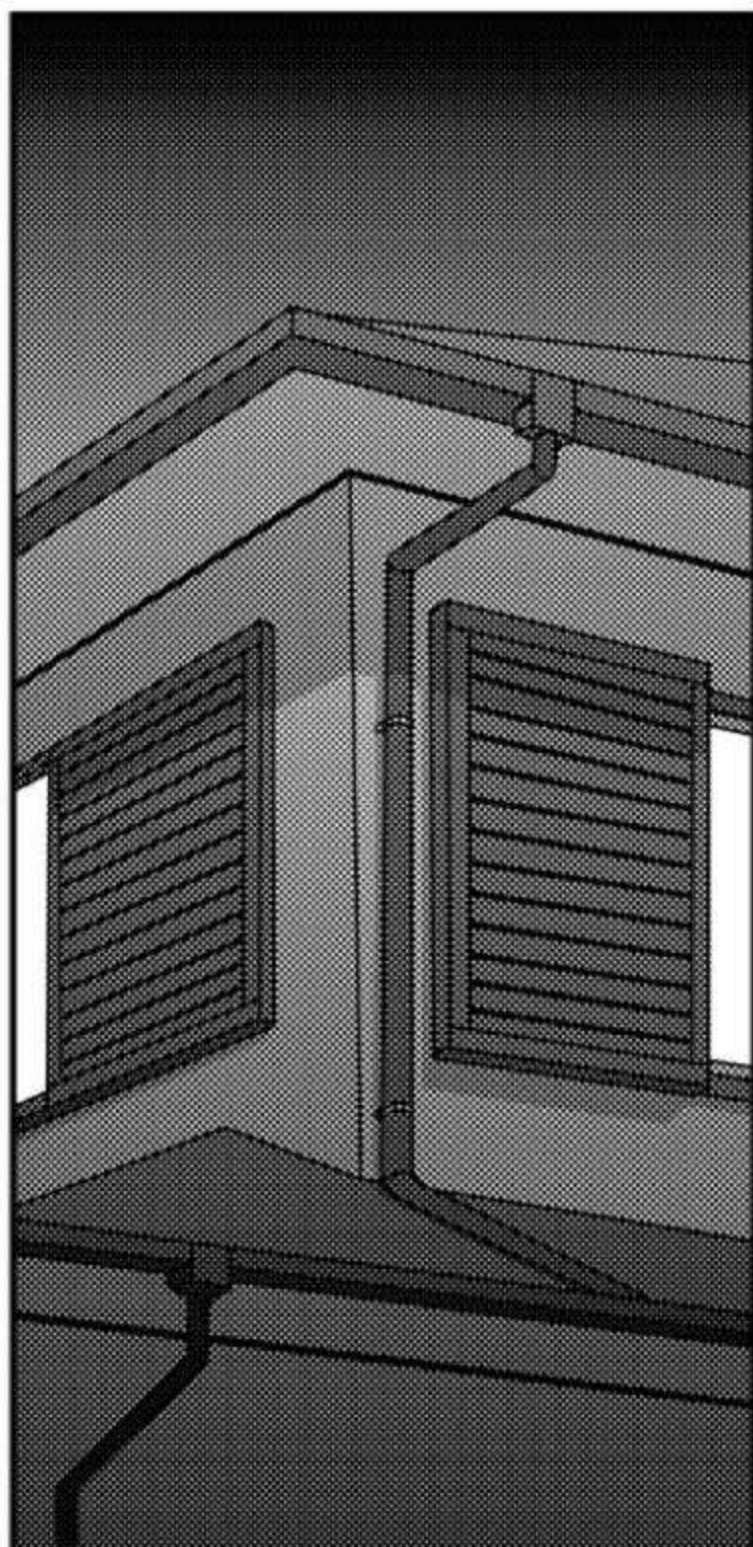
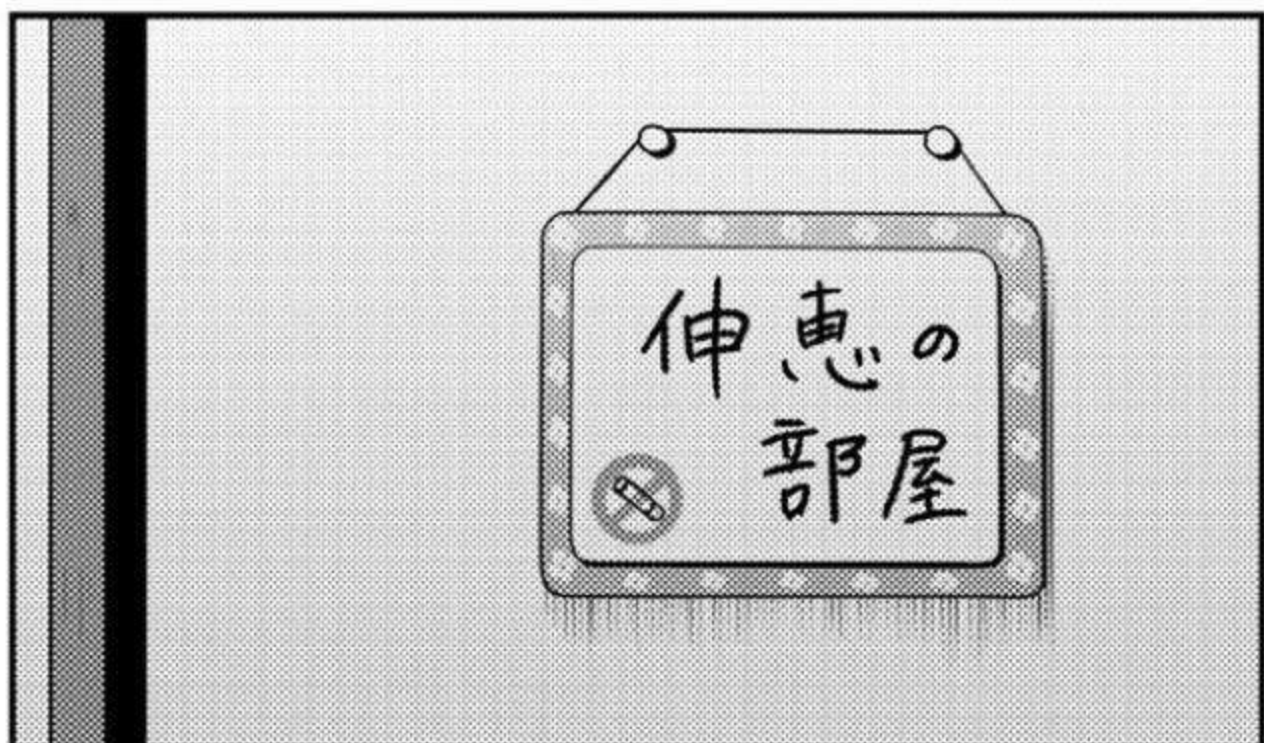
※18歳未満の購入・閲覧を禁じます

発行 : なつこん 夏実/紺野

発行日 : 2011/12/31

印刷所 : BRO'S

連絡先 : <http://natukon.mints.ne.jp/>



episode.A

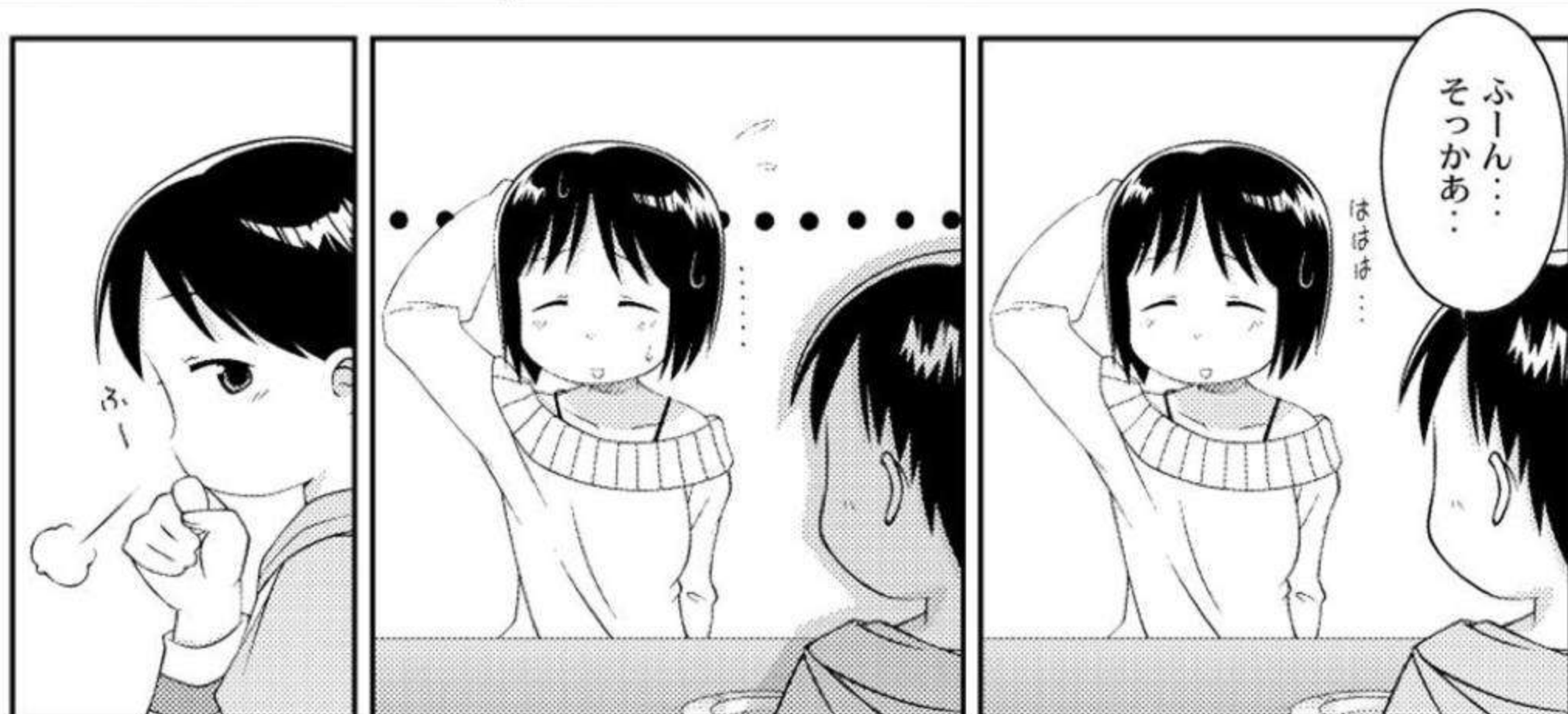
お姉ちゃんといっしょ

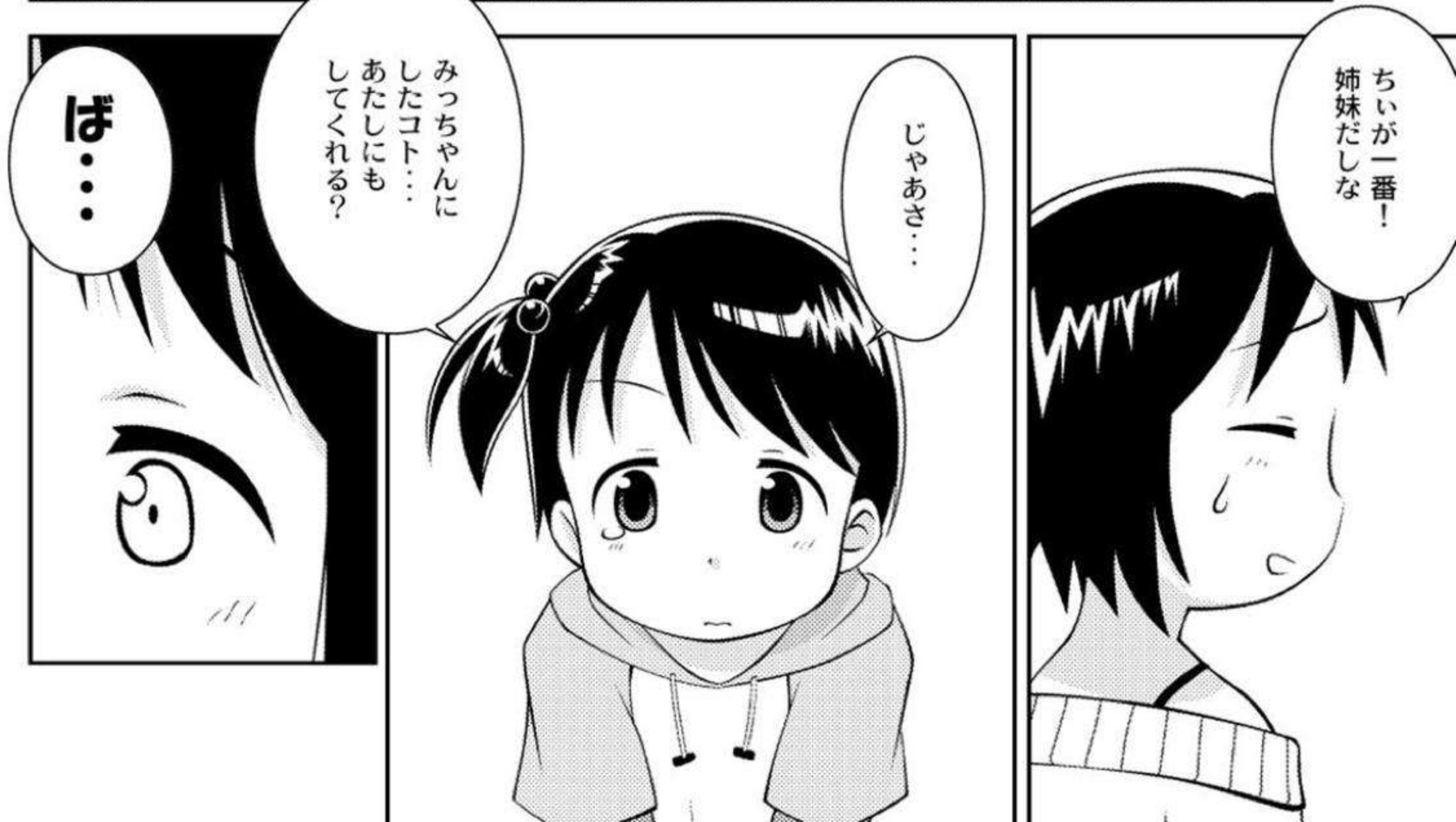


原作 夏実
作画 紺野

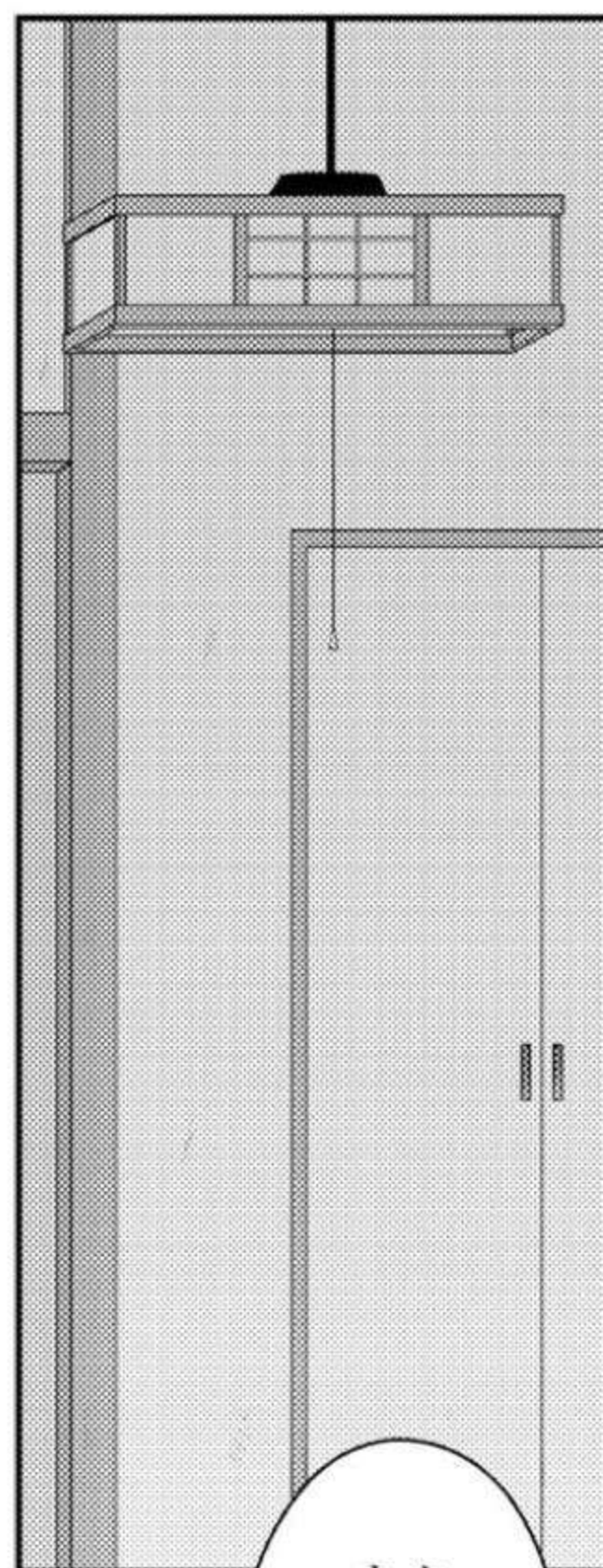


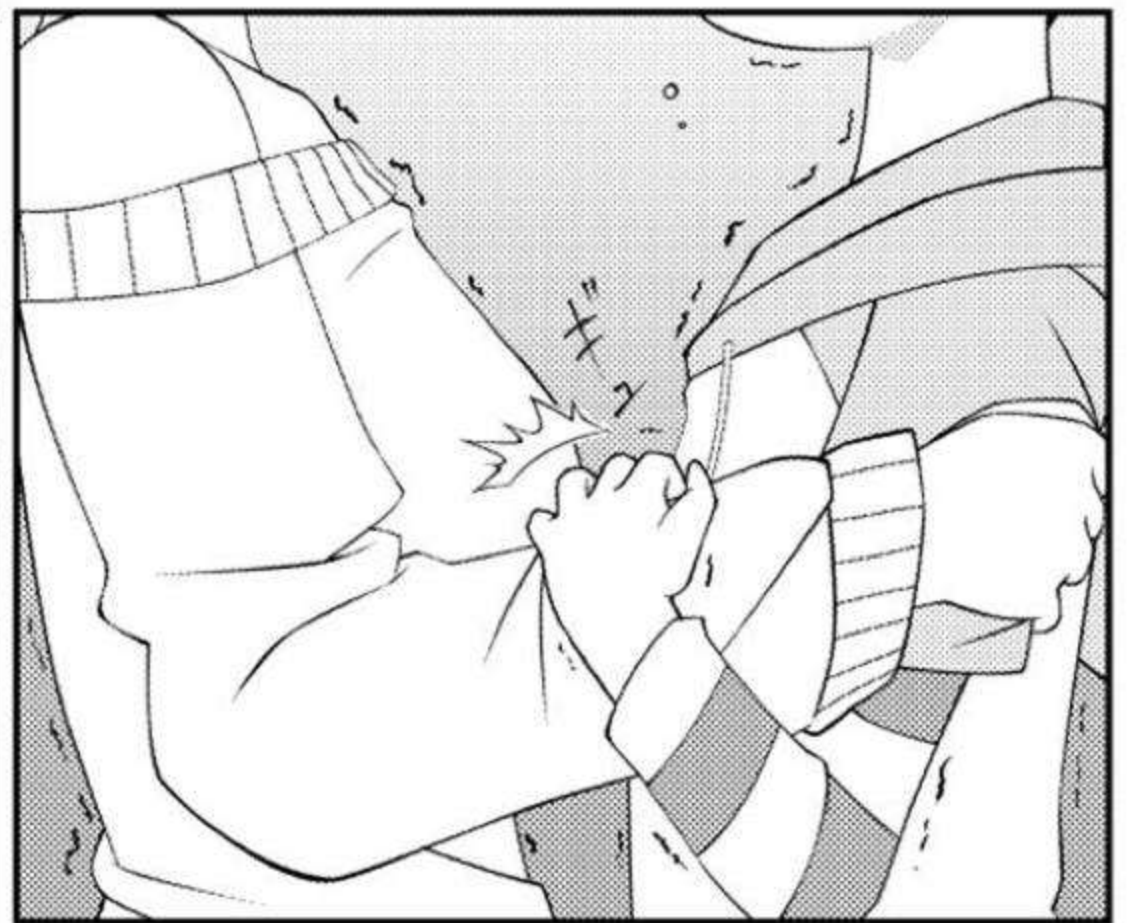


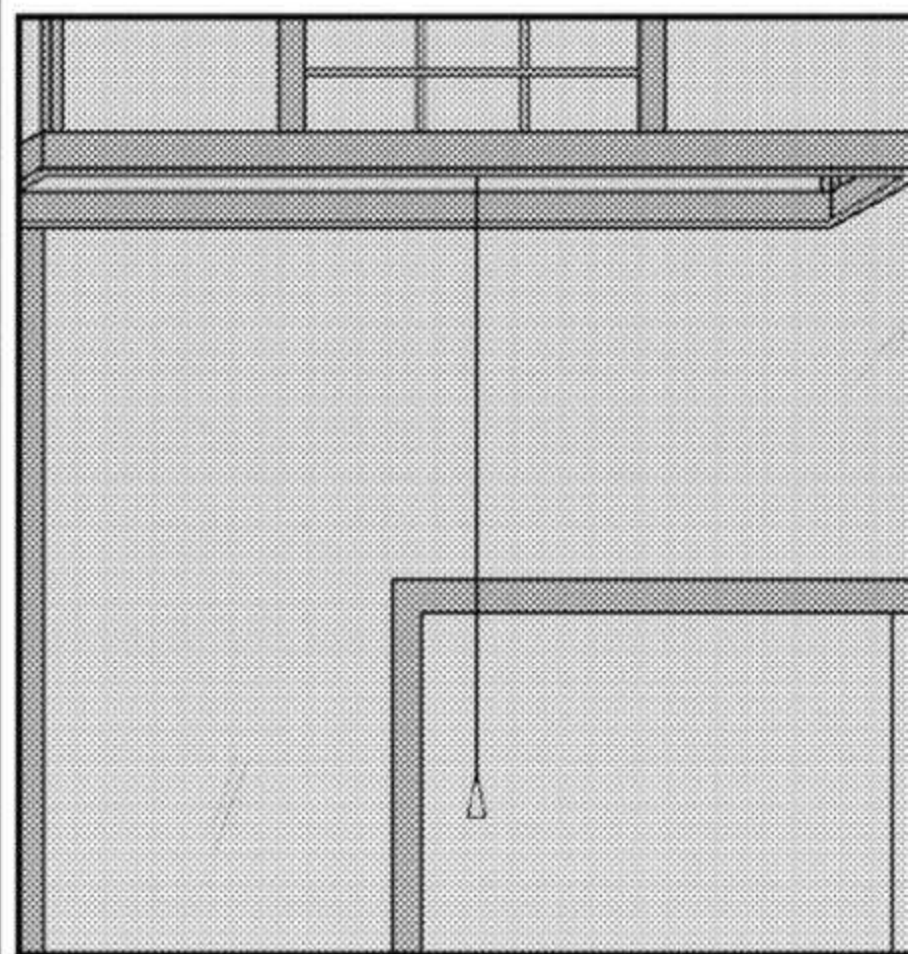


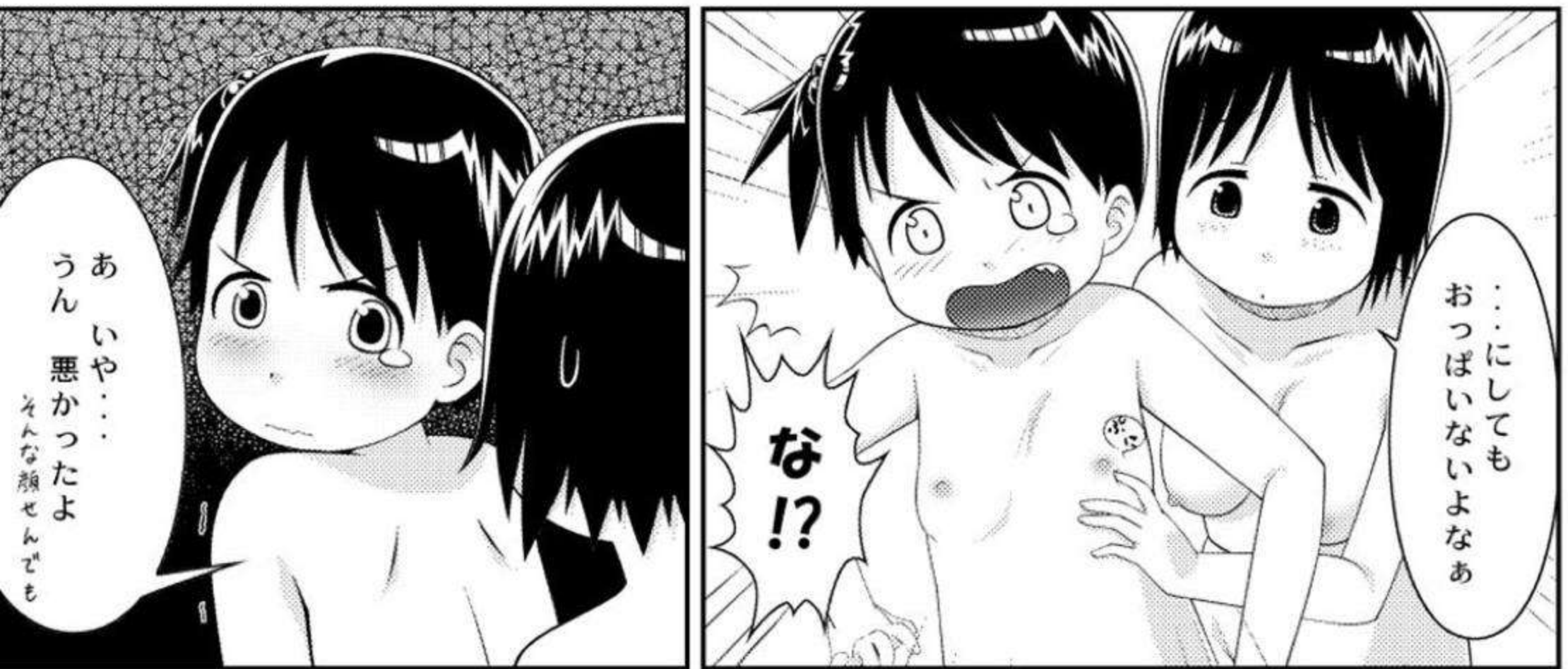


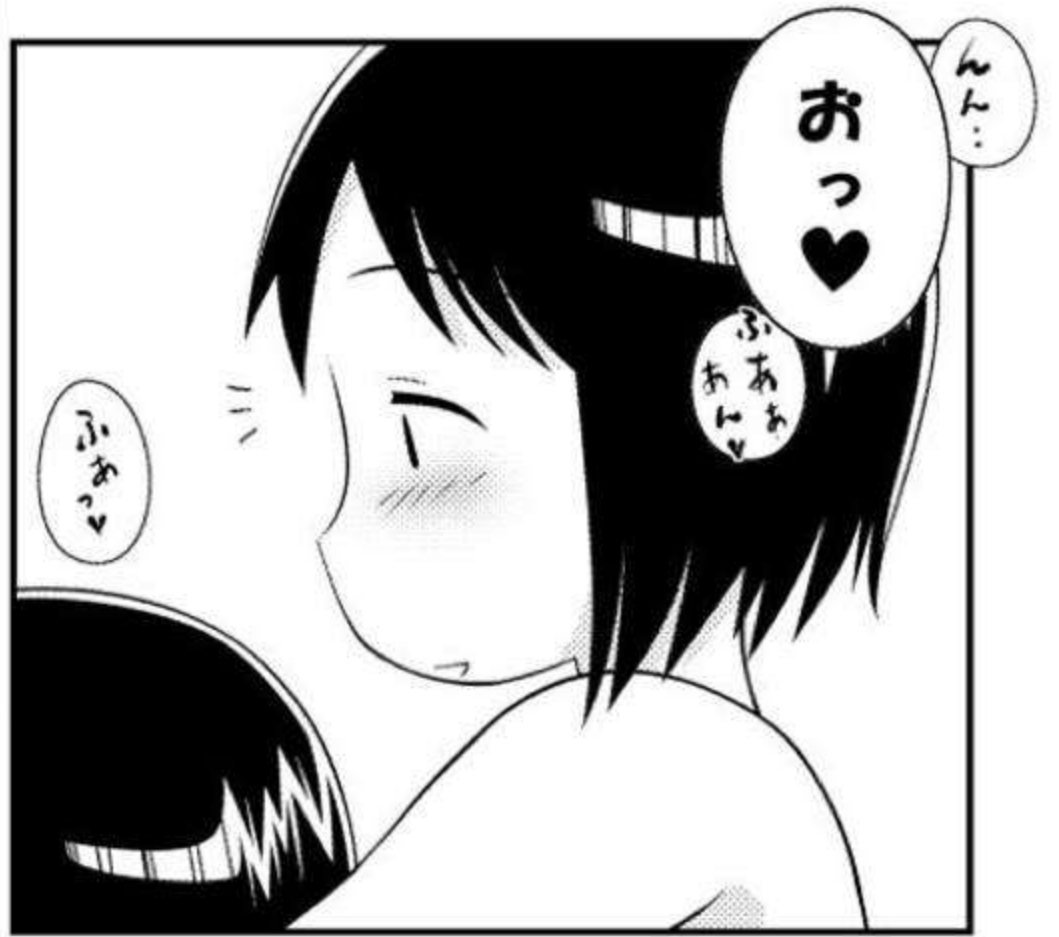






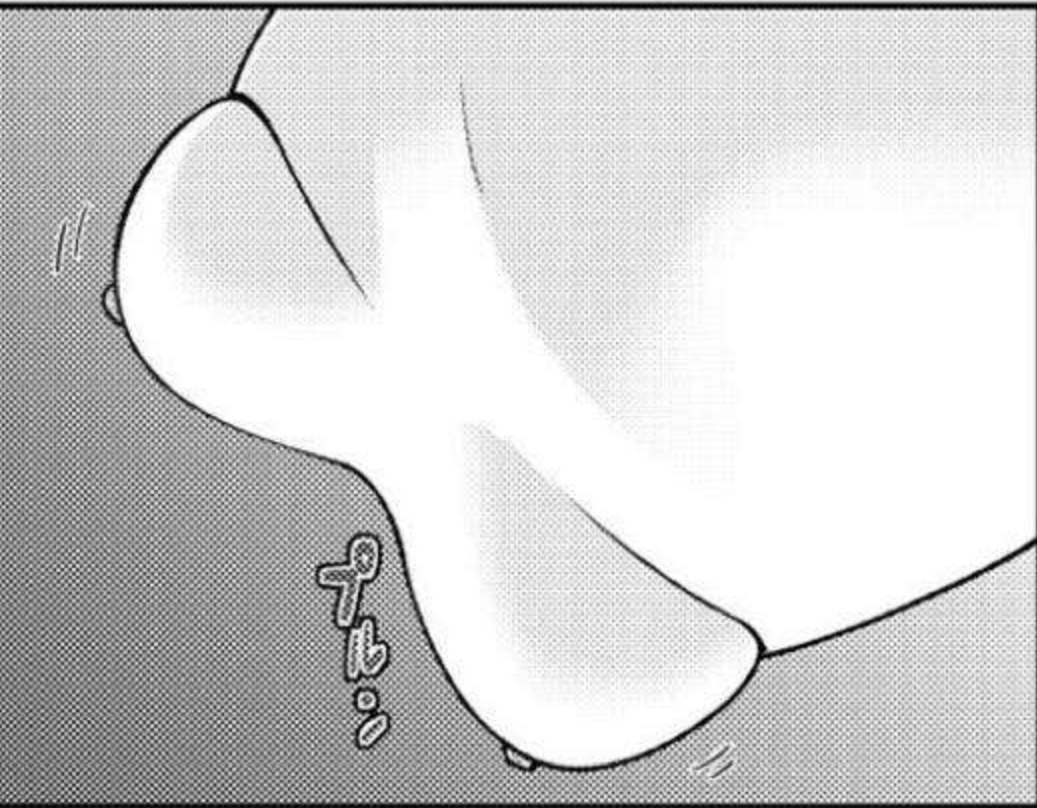








結構 ちいは
感じやすいなあ



ぽんぽん



あ……
こころ

ふ
るに
に



まあ 感じやすい
くらいの方が
かわいい……ふあつ



ぽん

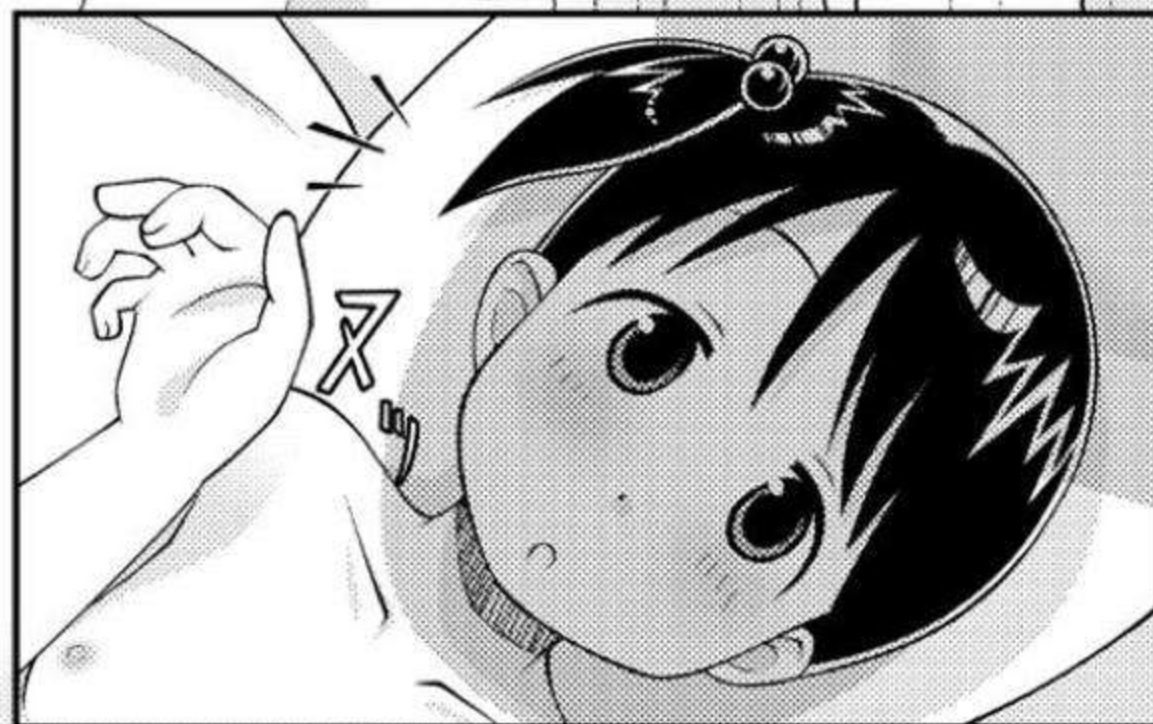


ちよちよっと
タンマ
あたし胸は...

やっ♡
ちよっ...
たふたふ

あたしも
これくらい
胸大きく
なるかなあ

たふたふ♡



くそ
ころなったち...



反撃開始!
いただきまーす♡

くはあ♡

わあっ

なんだ
もうココ
トロトロじゃん
解説せんでいい!!



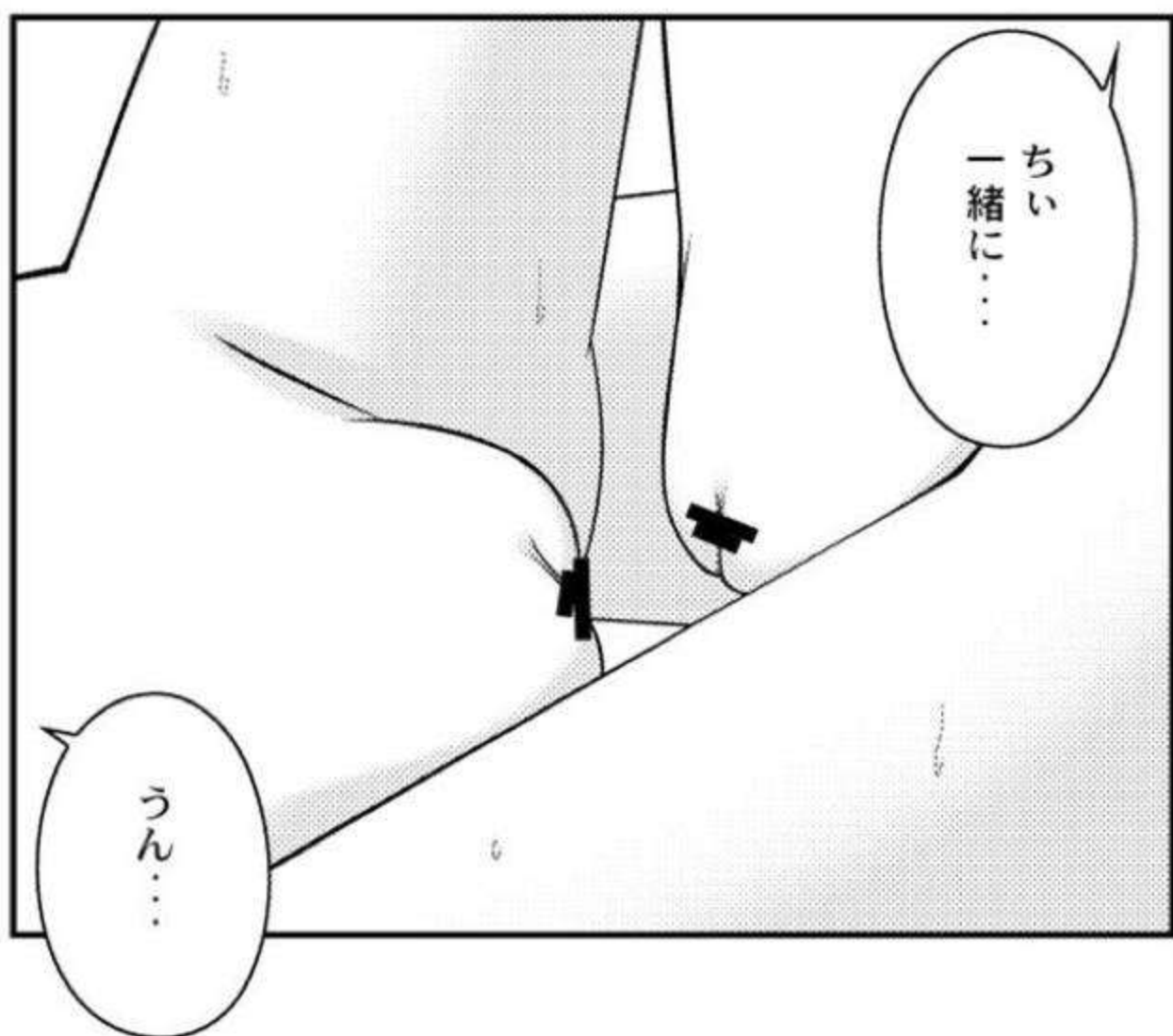
ふあああつ!!

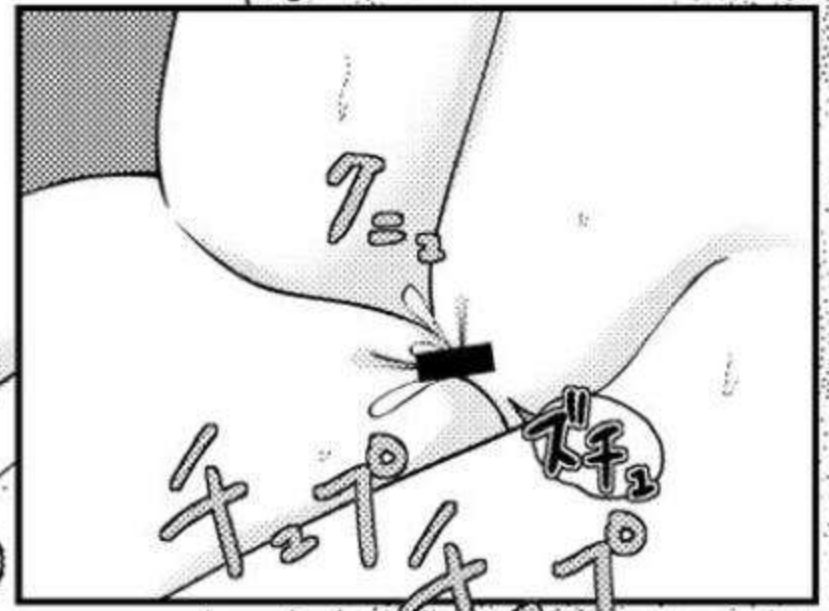
そこダメっ!

ヒクッ



んー!!





お姉ちゃん！
次はあたしと
プロレスごっこ
しようぜ！

うわわーっ！！

Episode.A お姉ちゃんといっしょ

記念すべきなつこんファーストインパクト、
なぜましまろになったのかは覚えていたりいなかったり。
千佳×美羽あたりが妥当なところかなーとか、
今になると思ったりもしますが、こまけえことあ(r y。
伸姉はアナや茉莉ばかりかわいがってますけれど、
姉妹愛だって負けていないはず!!! というのが見所です。
展開もわりとすんなりいけた気がしますし、
これぐらいの絡みなら本編であってもおかしくないはず!!!
というわけで、たまには勇気を振り絞ってみたちいちゃんと
たまにはそれに応える伸姉のお話でした。

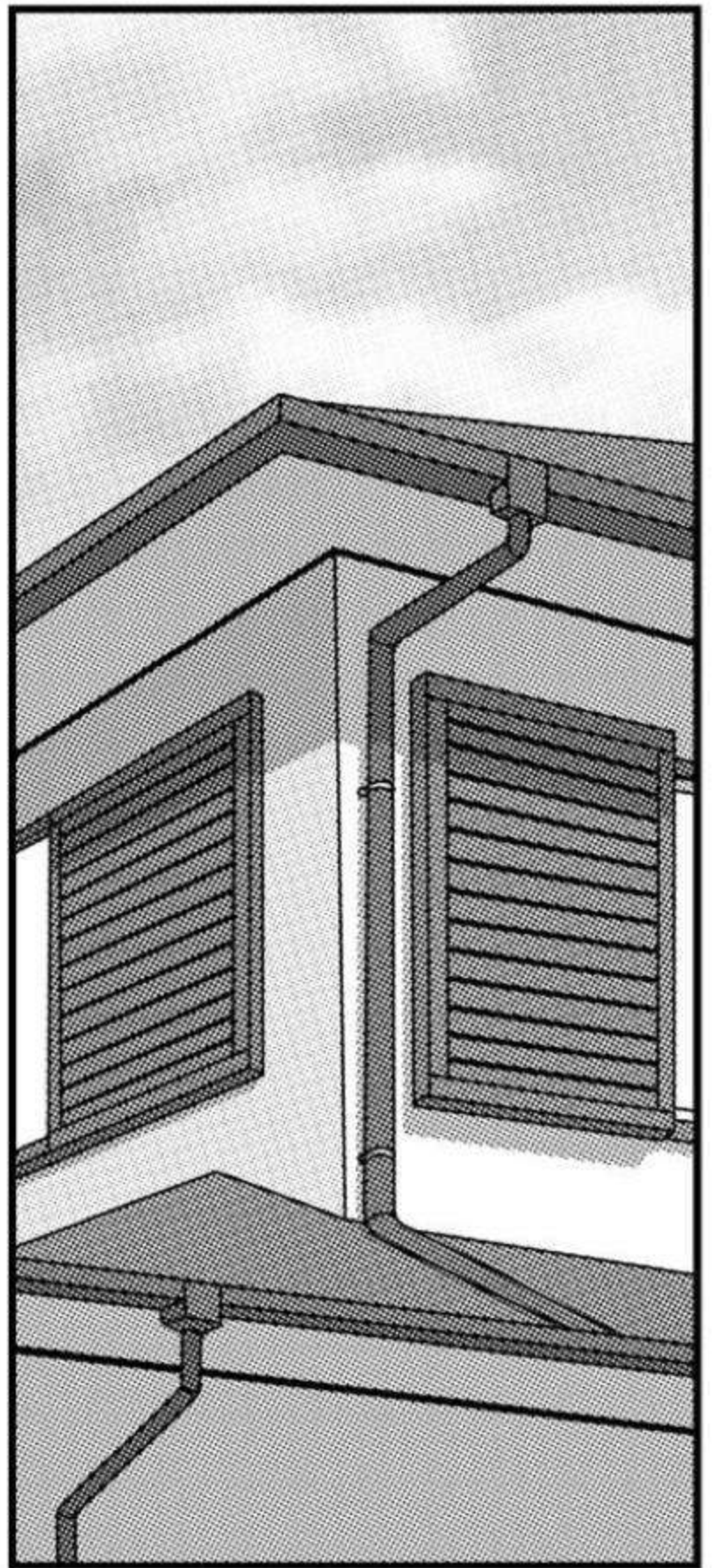
Episode.B 百合?!

なんてこと…………… 2作目が一般向けだなんて……………
そんなわけでギャグというかなんというかなお話です。
当時は「ちょっとどうかなー……………」と覚えていたりですが、
改めてみてみると結構ましまろなノリを醸し出しているような
そんな気がします。全キャラ出てますし。
百合の解説とかしたかったはずが、ノリ突っ込みのギャグに。
でもそれはそれでらしいかもしれないと思ったり。
本編のほかに、中表紙と扉絵も何だかノリノリです。

出番、
増えようともー

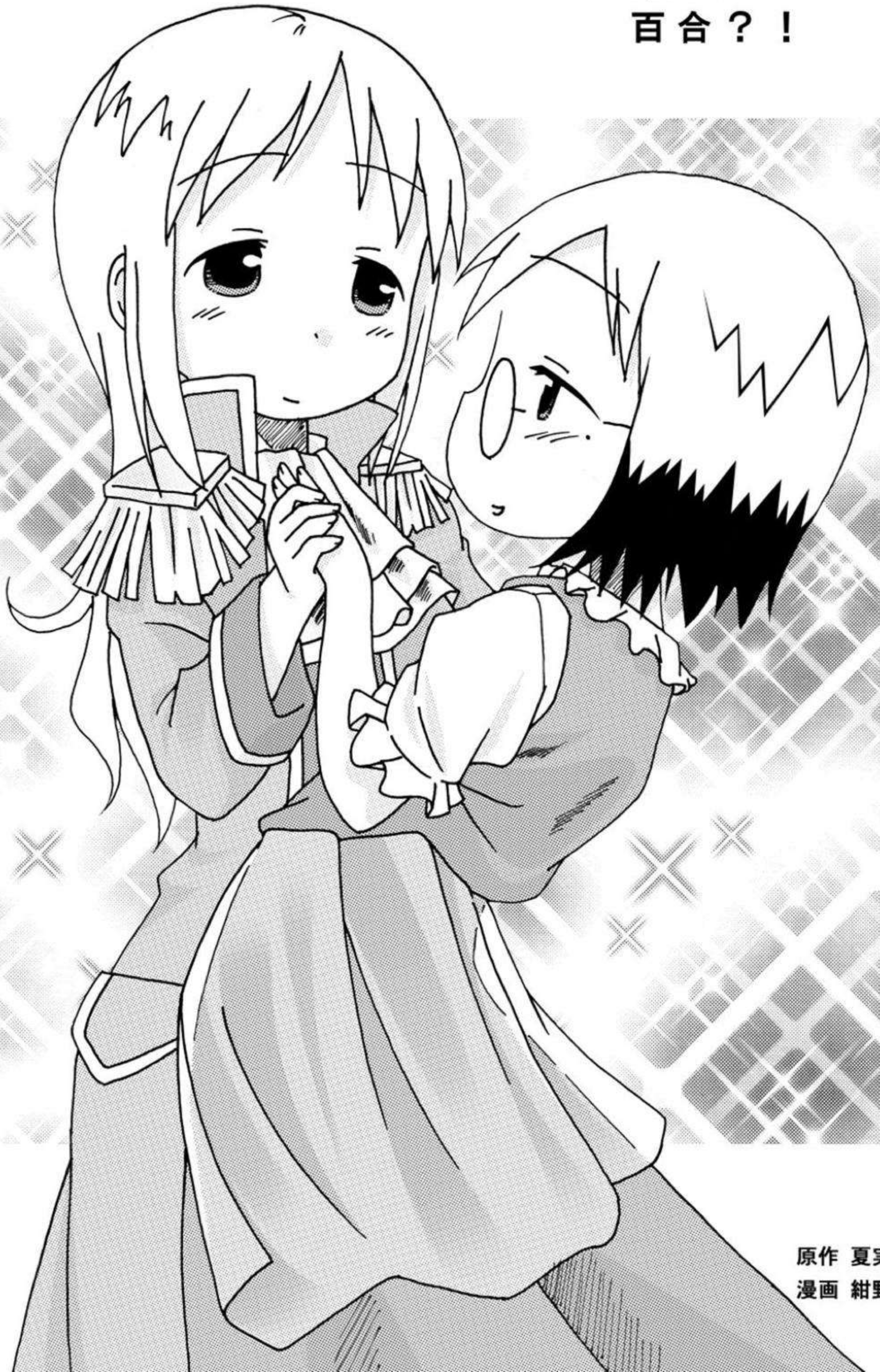
人気、
揺るがず！



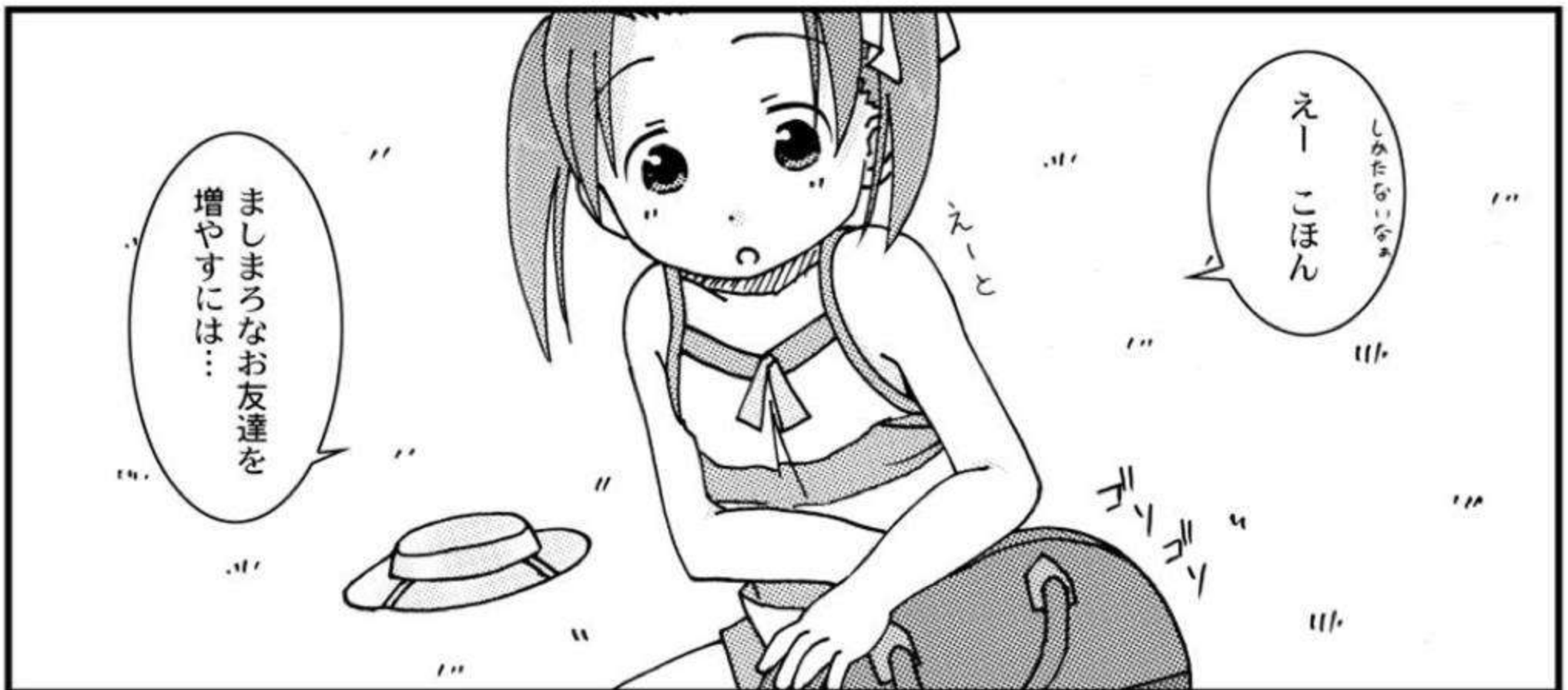


episode.**B**

百合？！

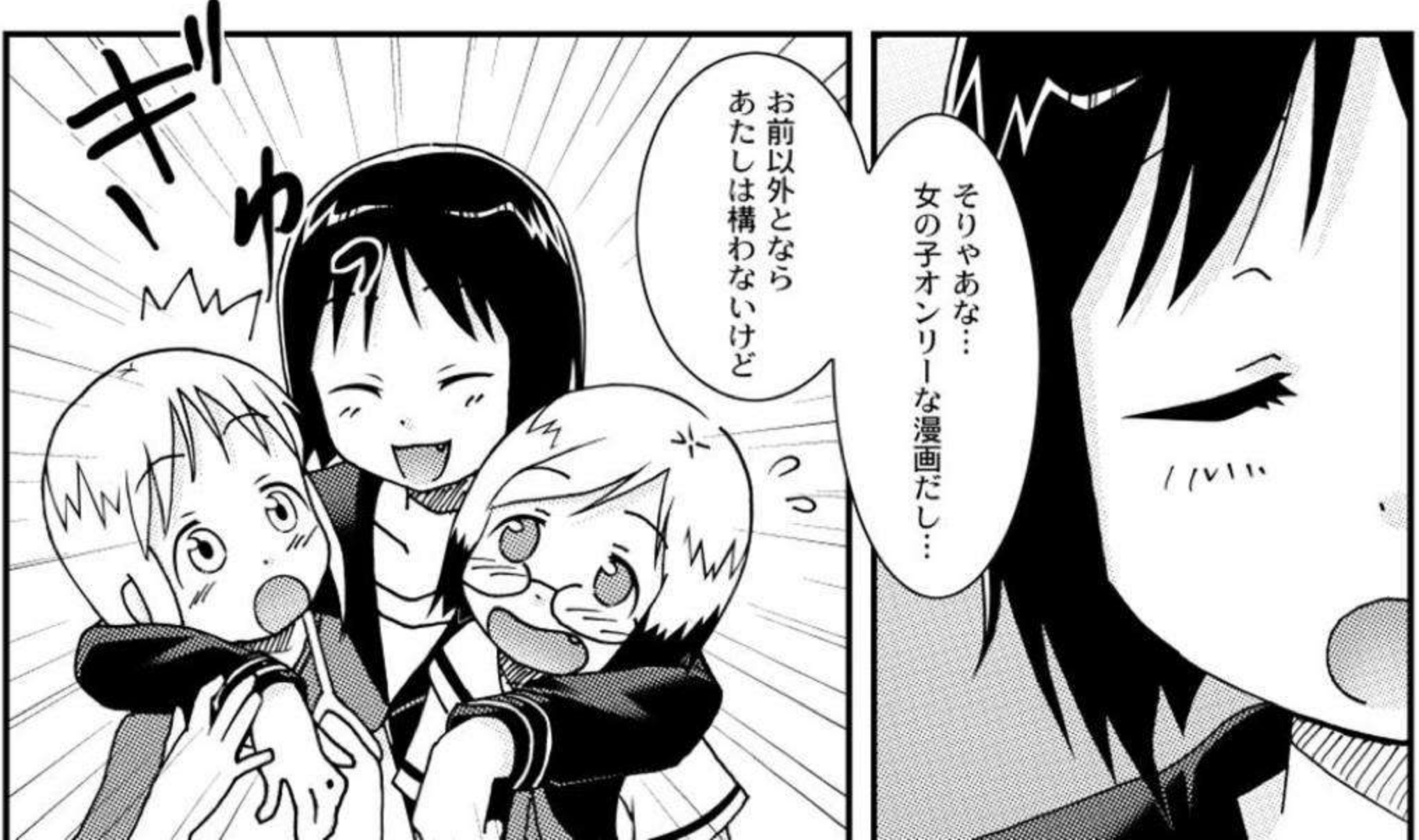
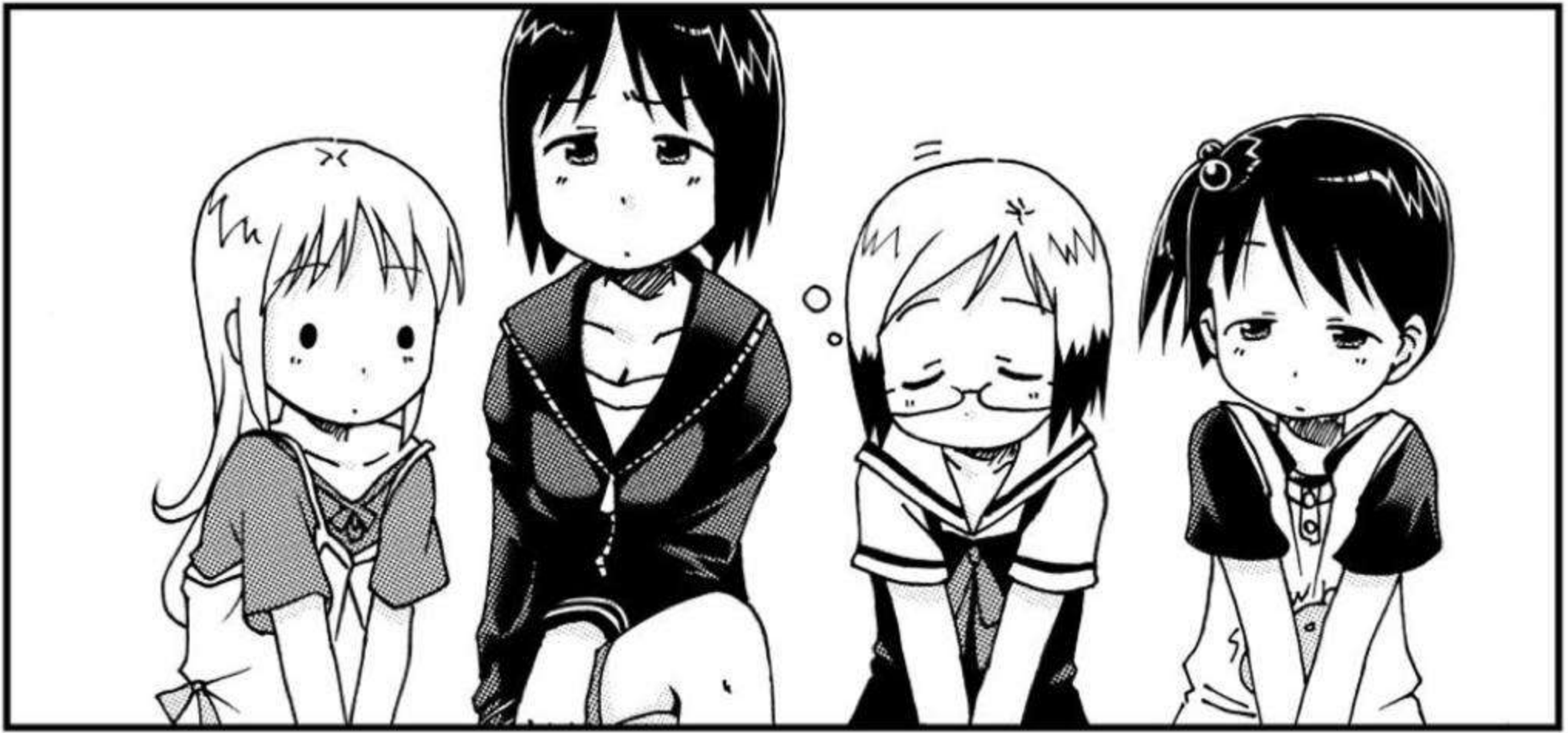


原作 夏実
漫画 紺野



百合だよー！

百合!!!



お前以外となら
あたしは構わないけど

そりやあな…
女の子オンリーな漫画だし…

キ
ー
ゅ



ちいが言うな…

くるしい
ですか



まあ お姉ちゃんは
元からそういう気が
ありそうだもんね



COPLING

まずは
カップリングだね!

キャラ同士の
相性が
重要なんだって



それで この本に
書いてあるんだけど—

えーっと

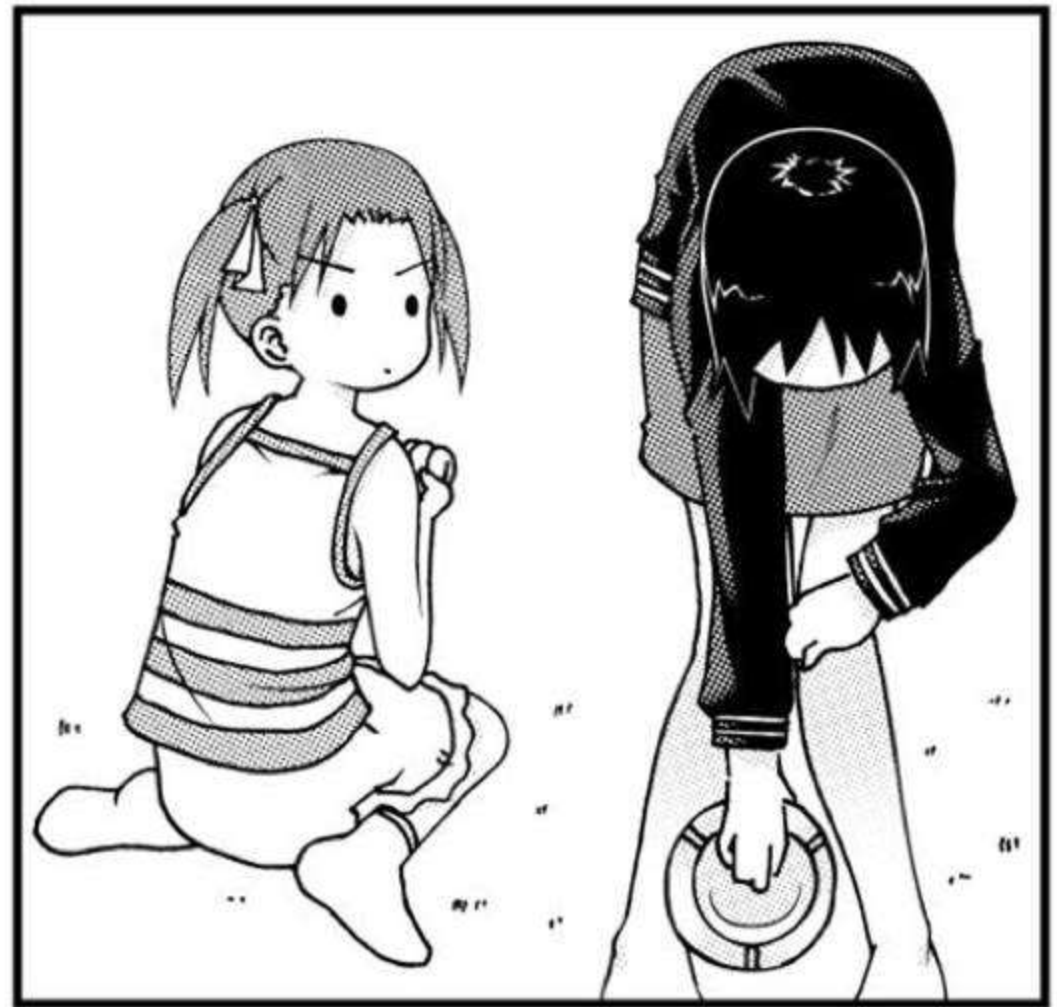


うーん あたしと
みっちゃんとか?
わからんけど



仲良しさん
ということでしょうか

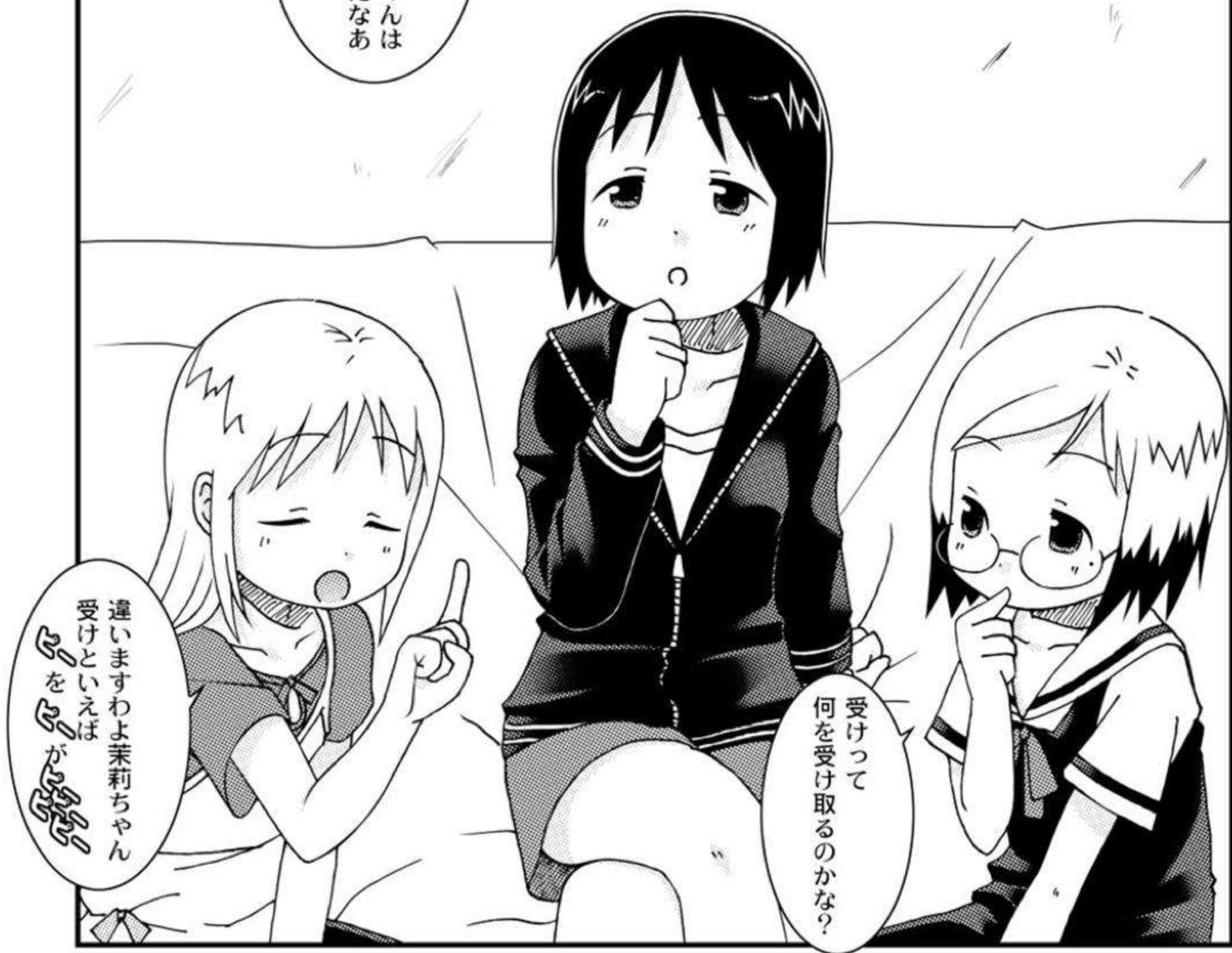
カップリングって
何なのかな?



で 攻めだと
あたしと美羽か

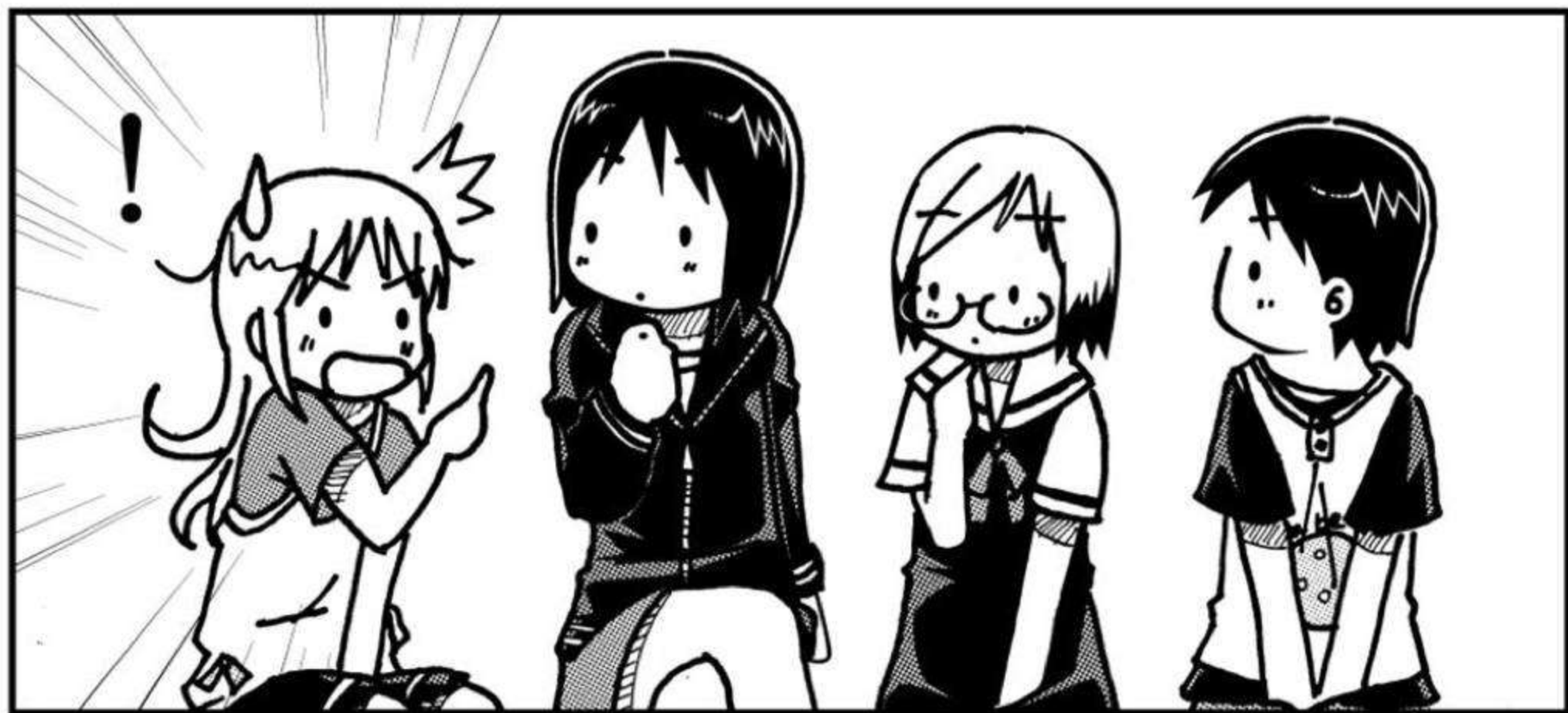
受けは
茉莉ちゃん

ちいとアナちゃんは
難しいところだなあ



違いますわよ茉莉ちゃん
受けといえは
何をか

受けて
何を受け取るのかな？







さすがニセ外人コッポラ！
わかってるね！

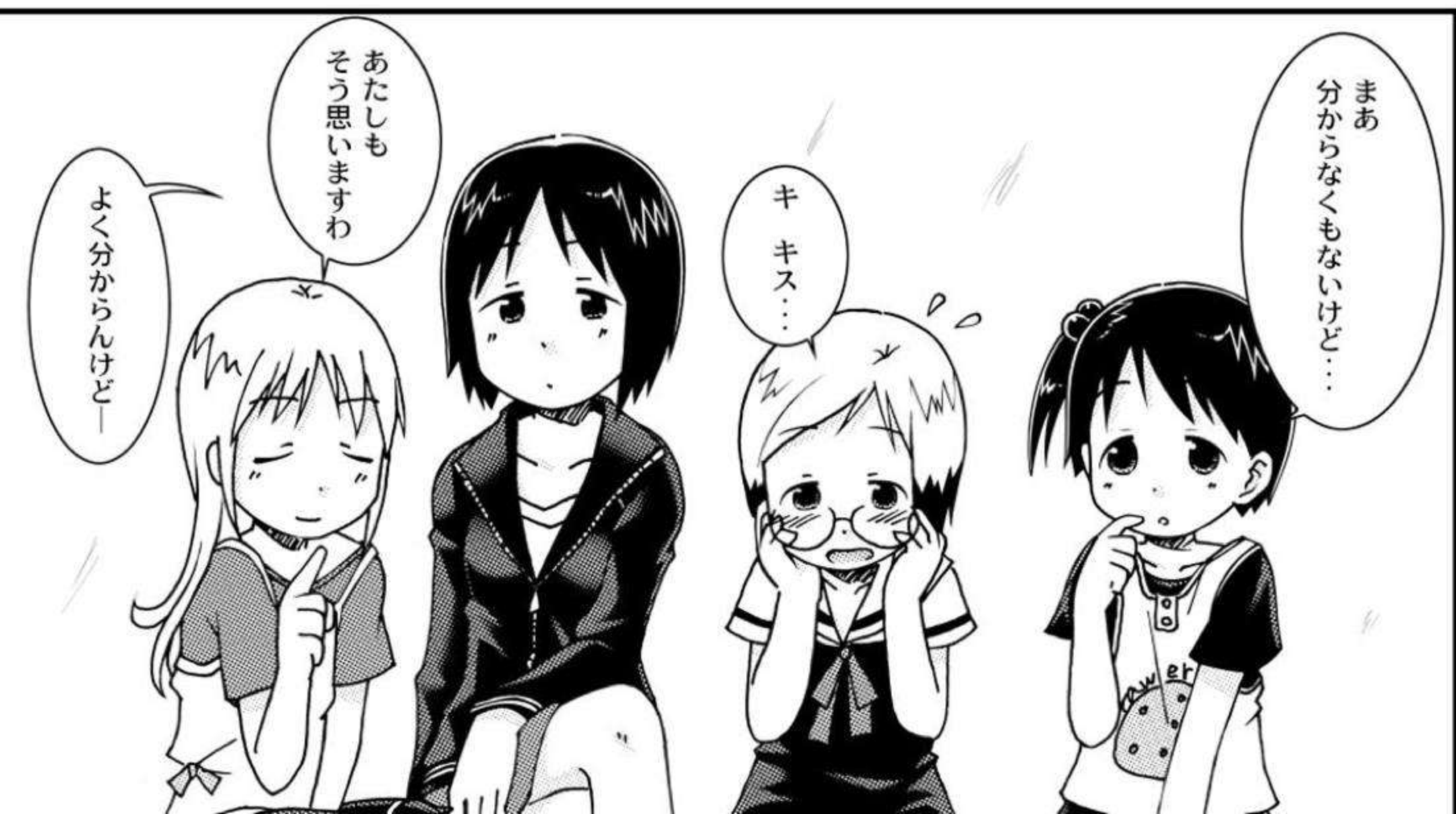
百合は手をつなぐとか
キスとかそういう
軽いのが一番えらいんだよ



でもですね
百合は軽い描写のほうが
えっちなんです



…と
パパの本に…

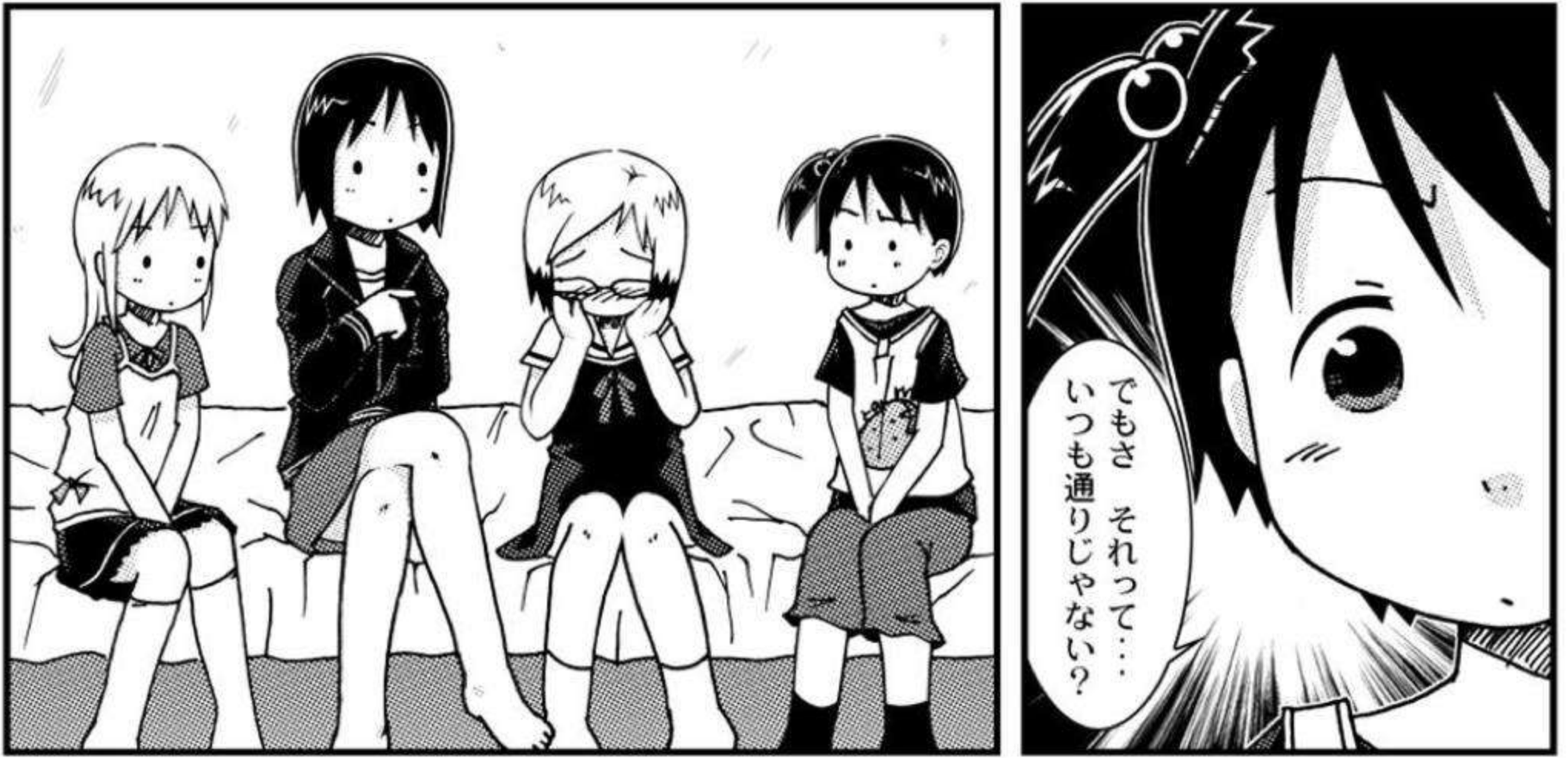


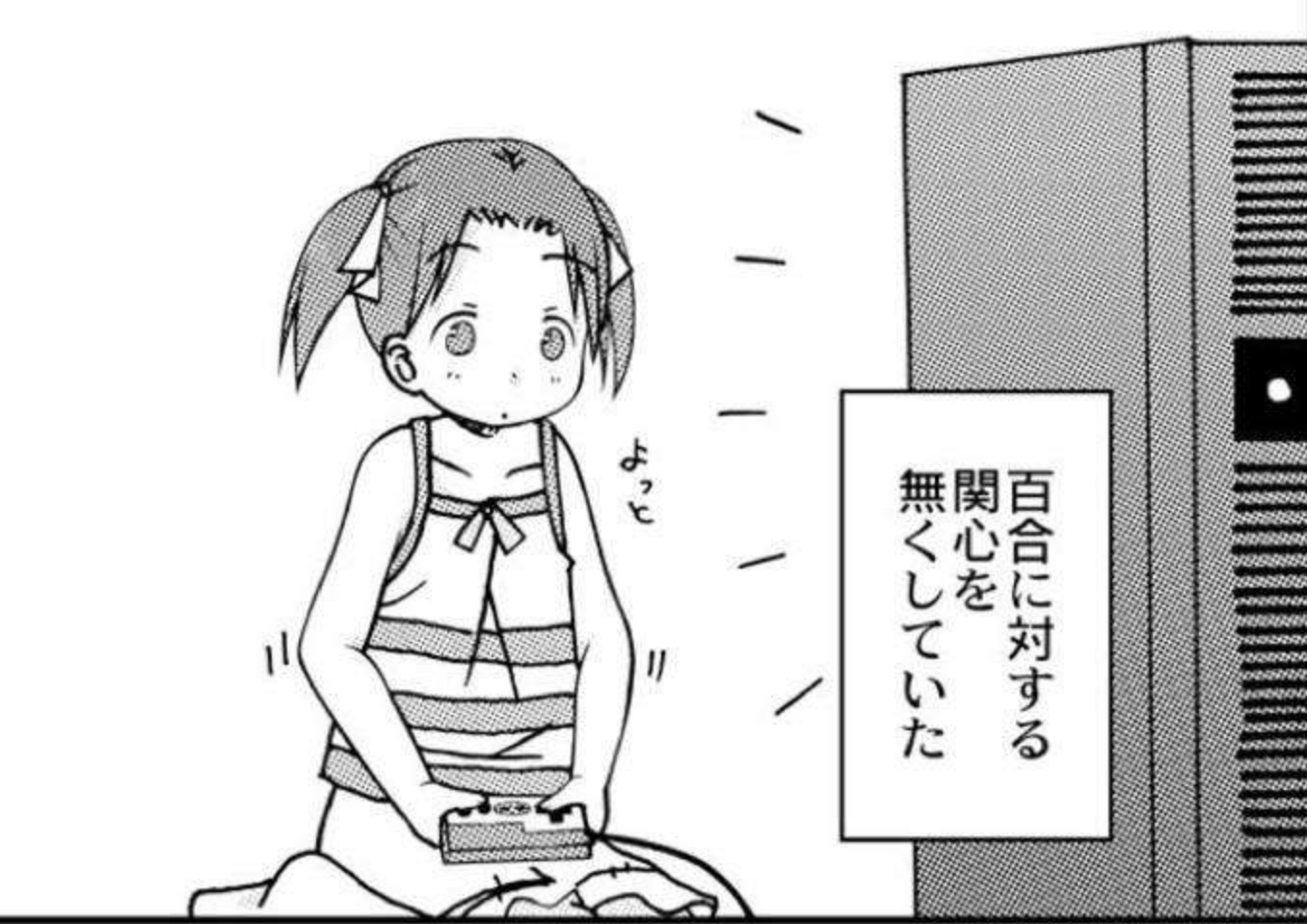
あたしも
そう思いますわ

よく分からんけどー

キ
キス…

まあ
分からなくもないけど…





百合に対する
関心を
無くしていた



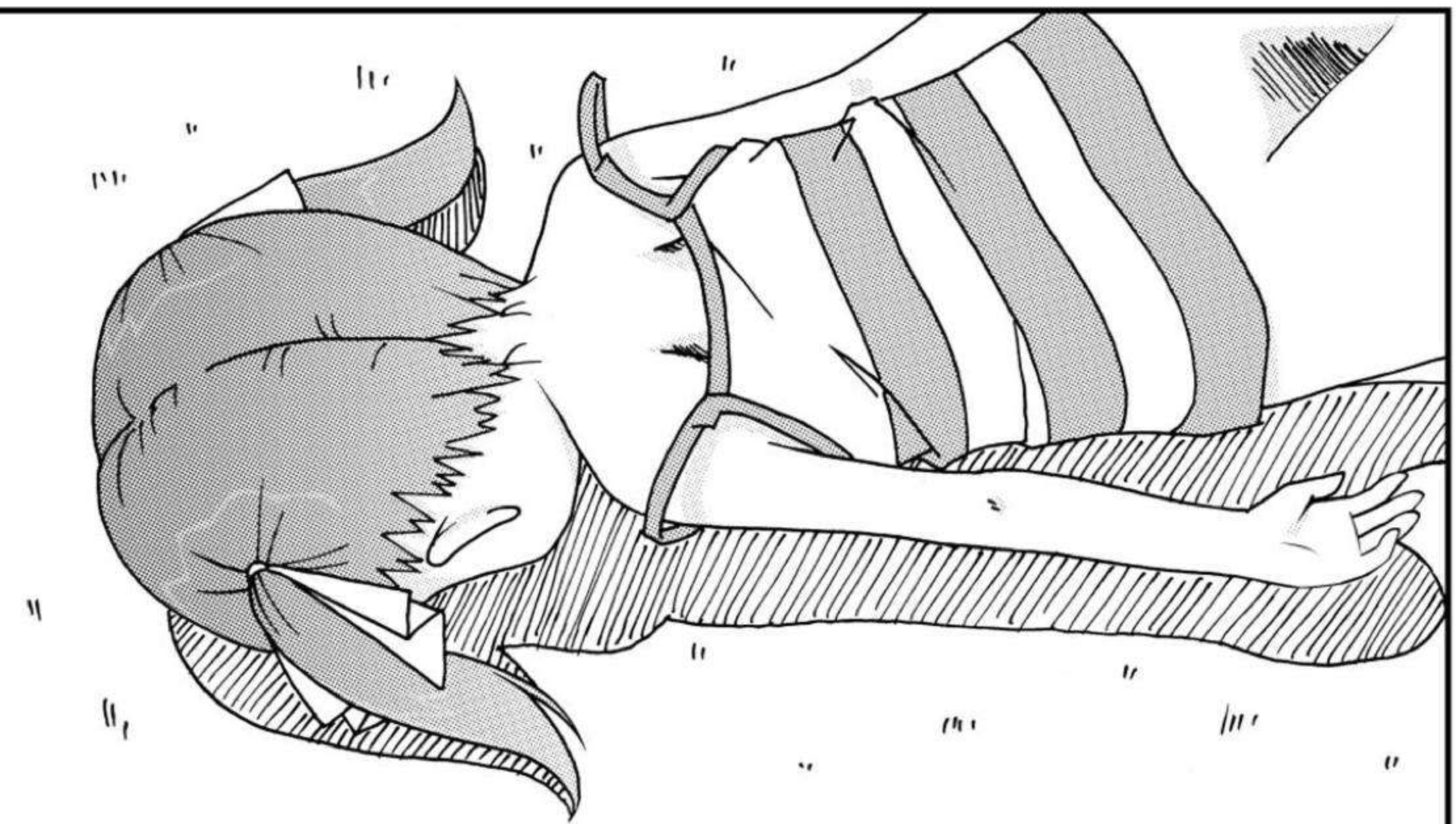
その時

美羽は
もはや
完全に…



チキチキちゃんね

トク…

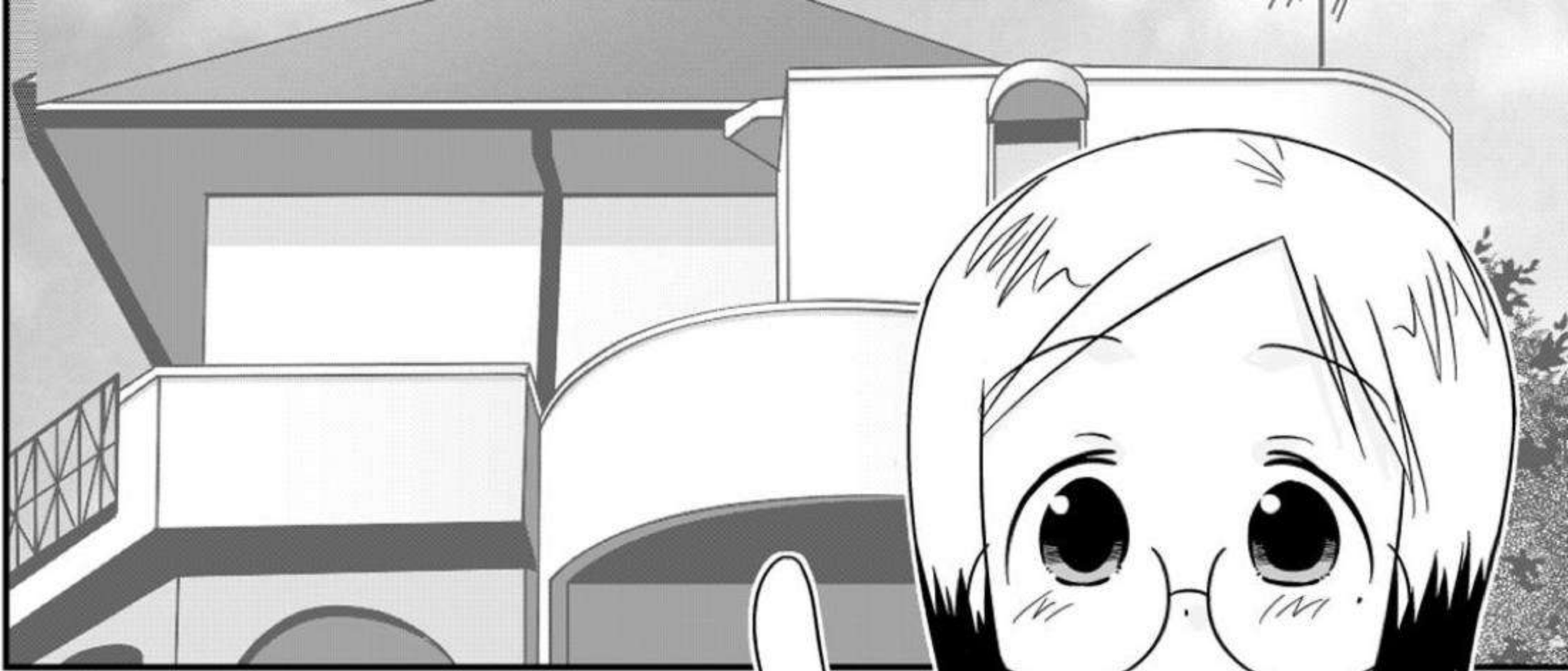


episode. C

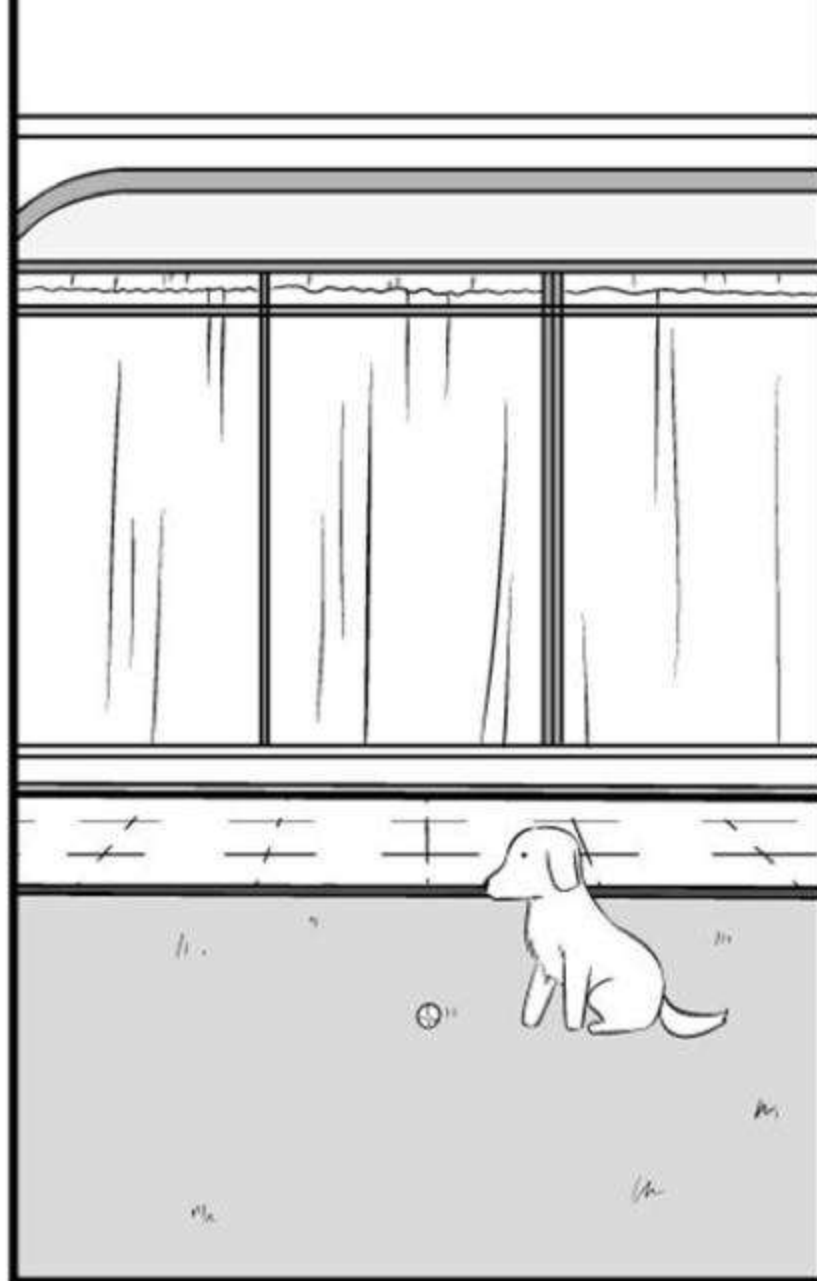
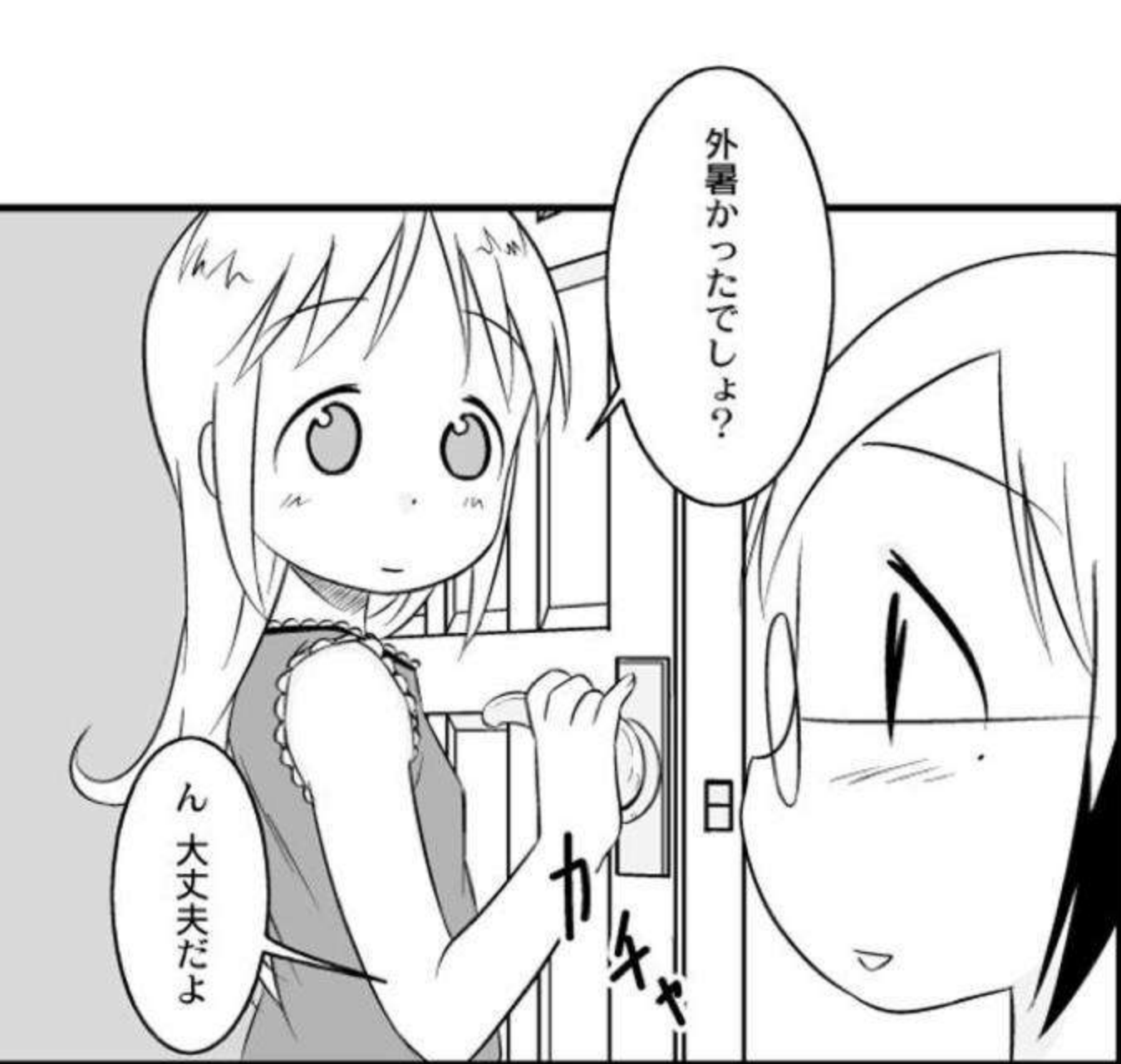
仲良しさん

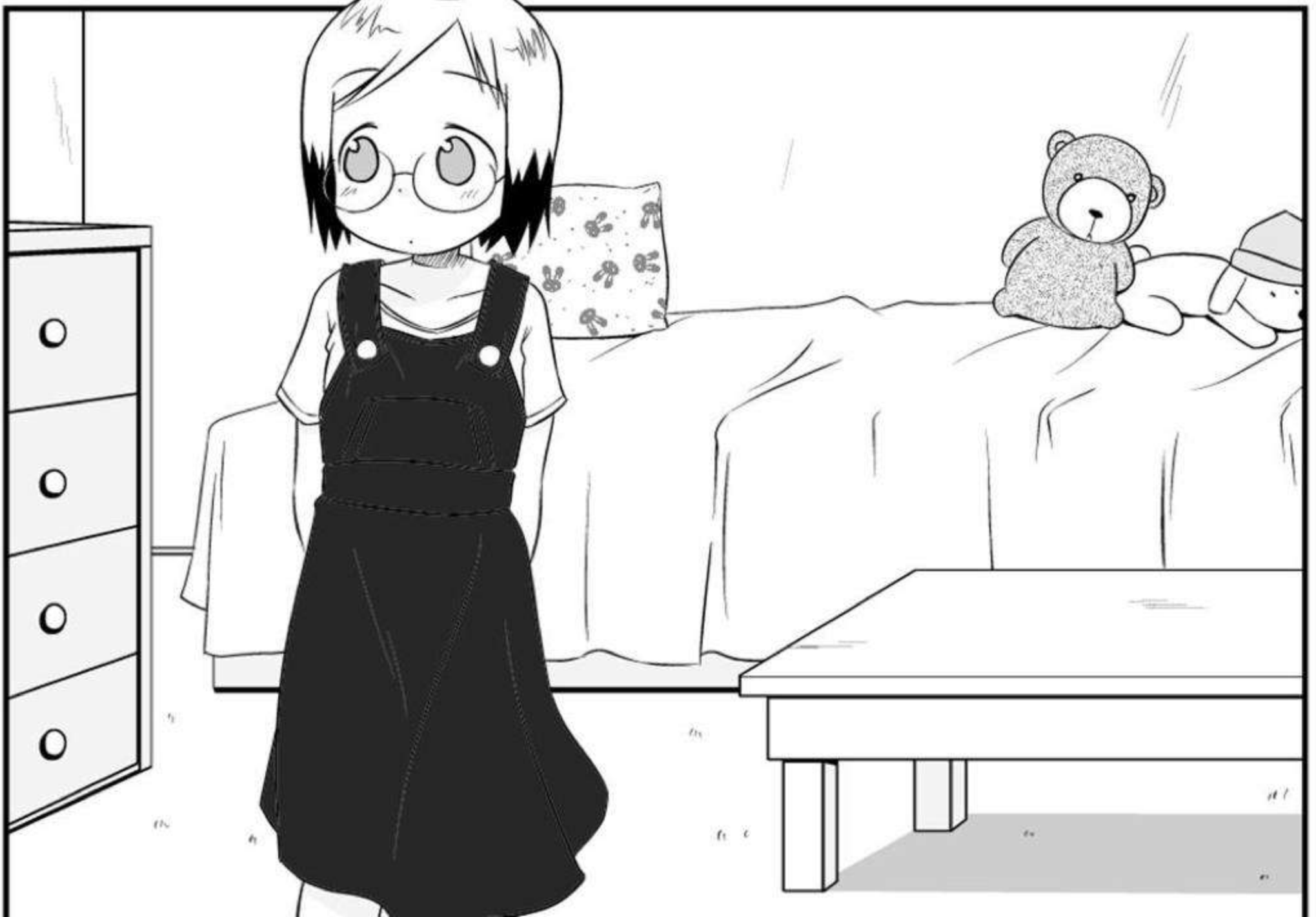


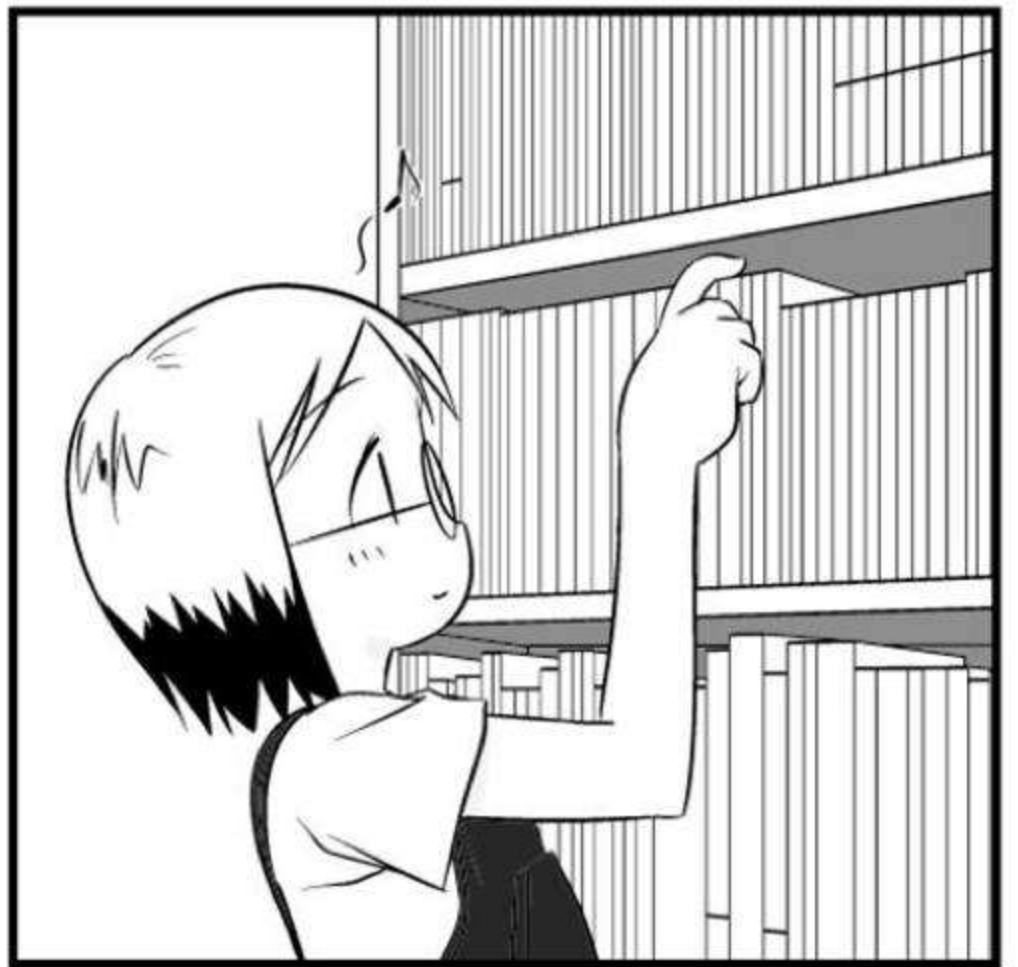
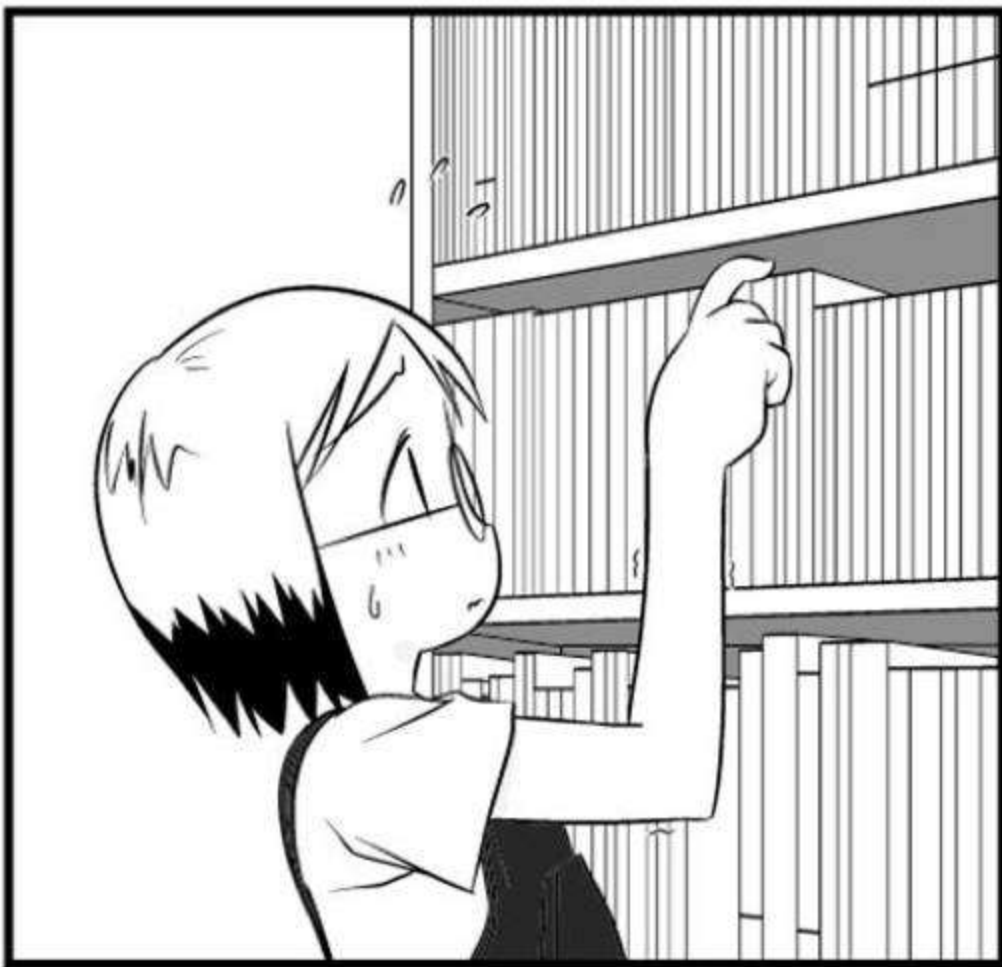
原作 夏実
漫画 紺野



はい
すぐ行きますわ

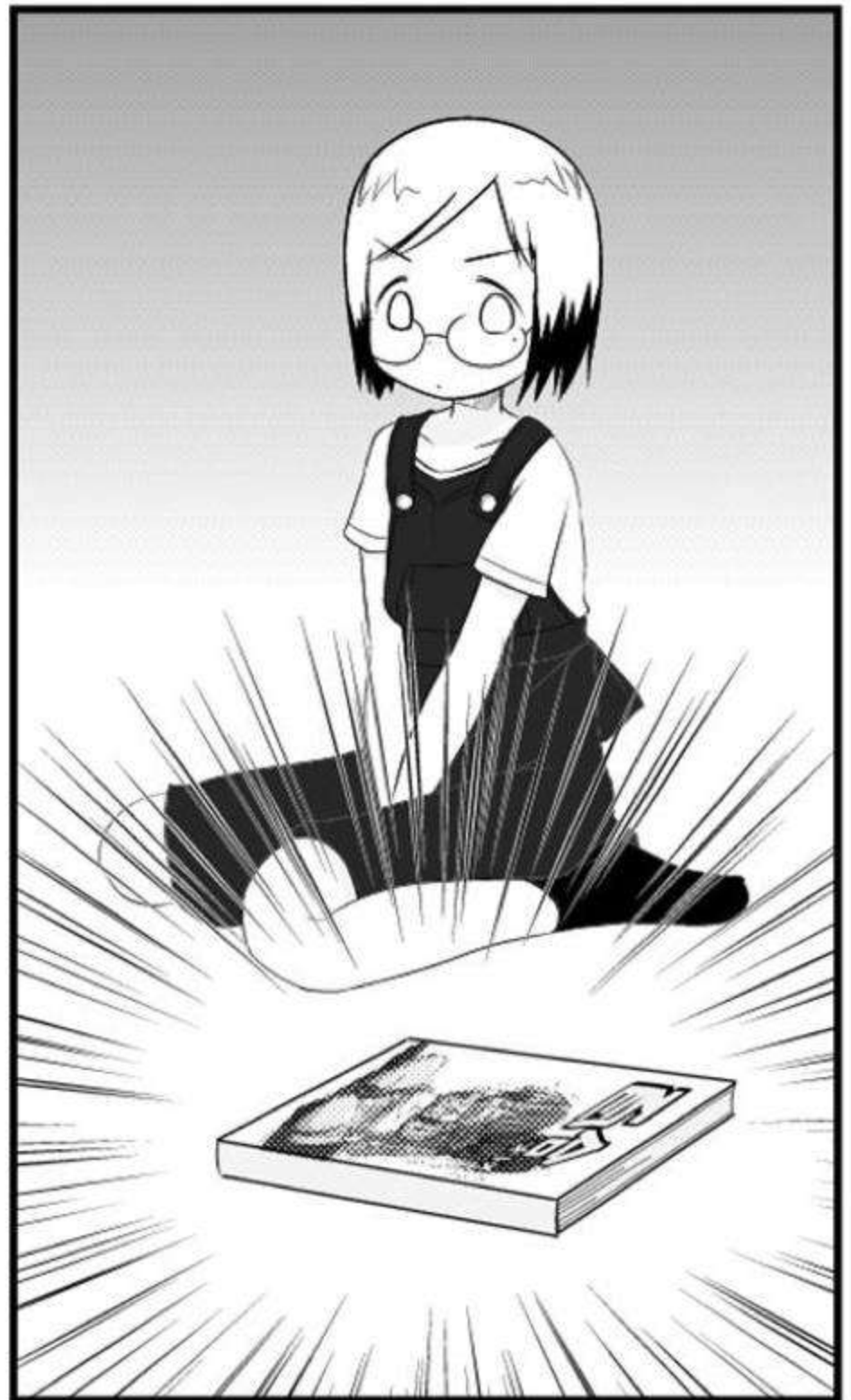


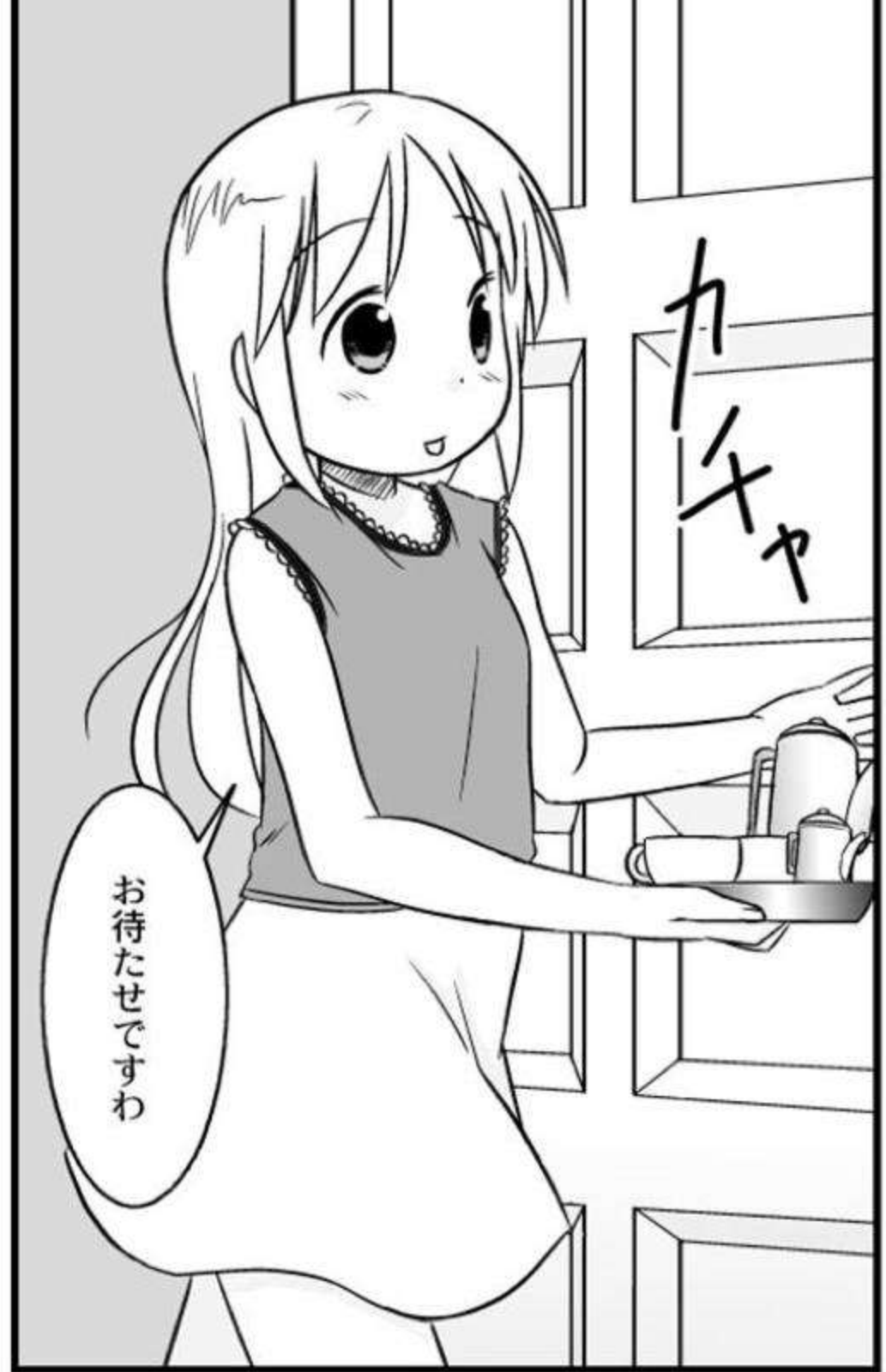


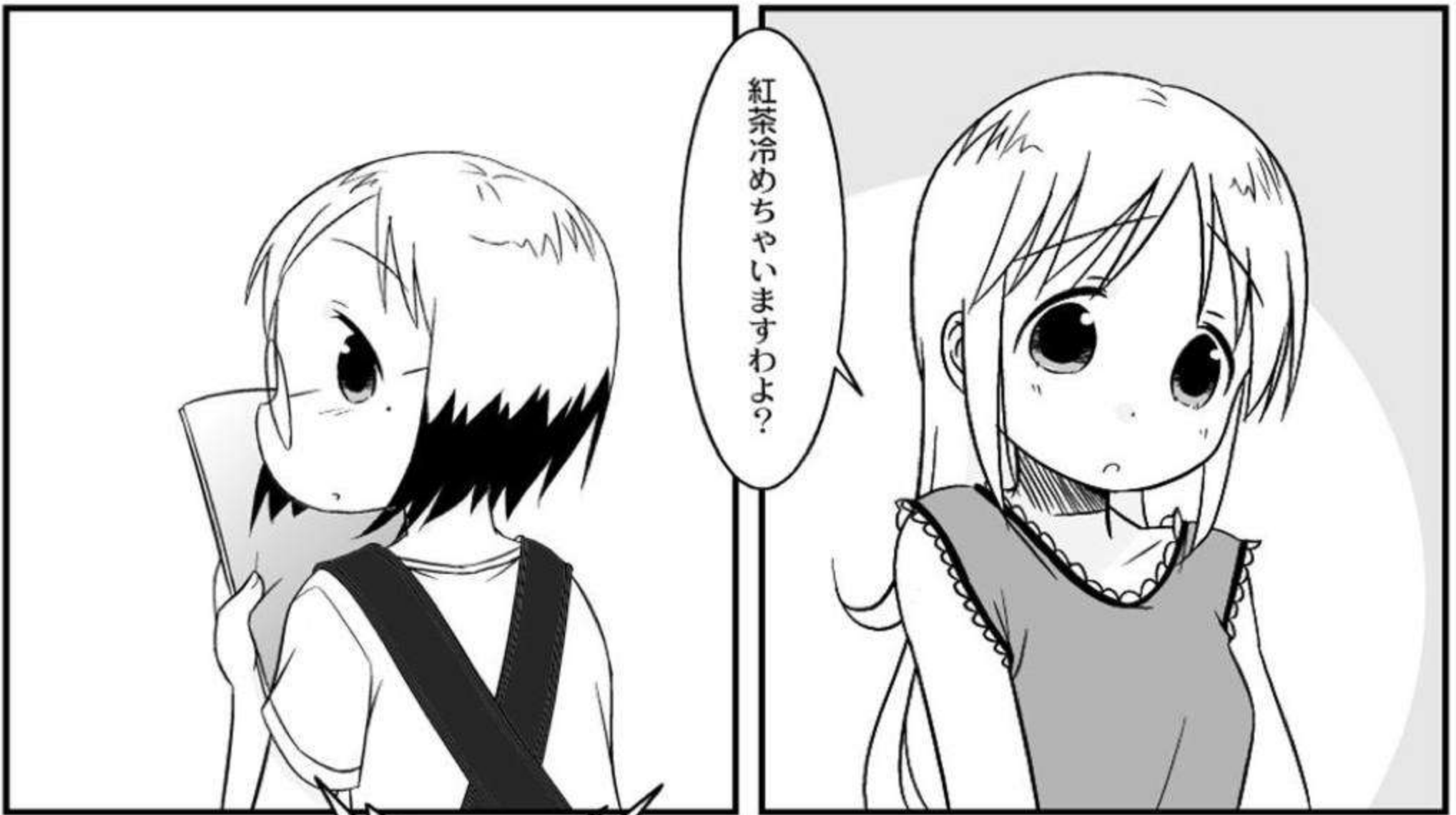


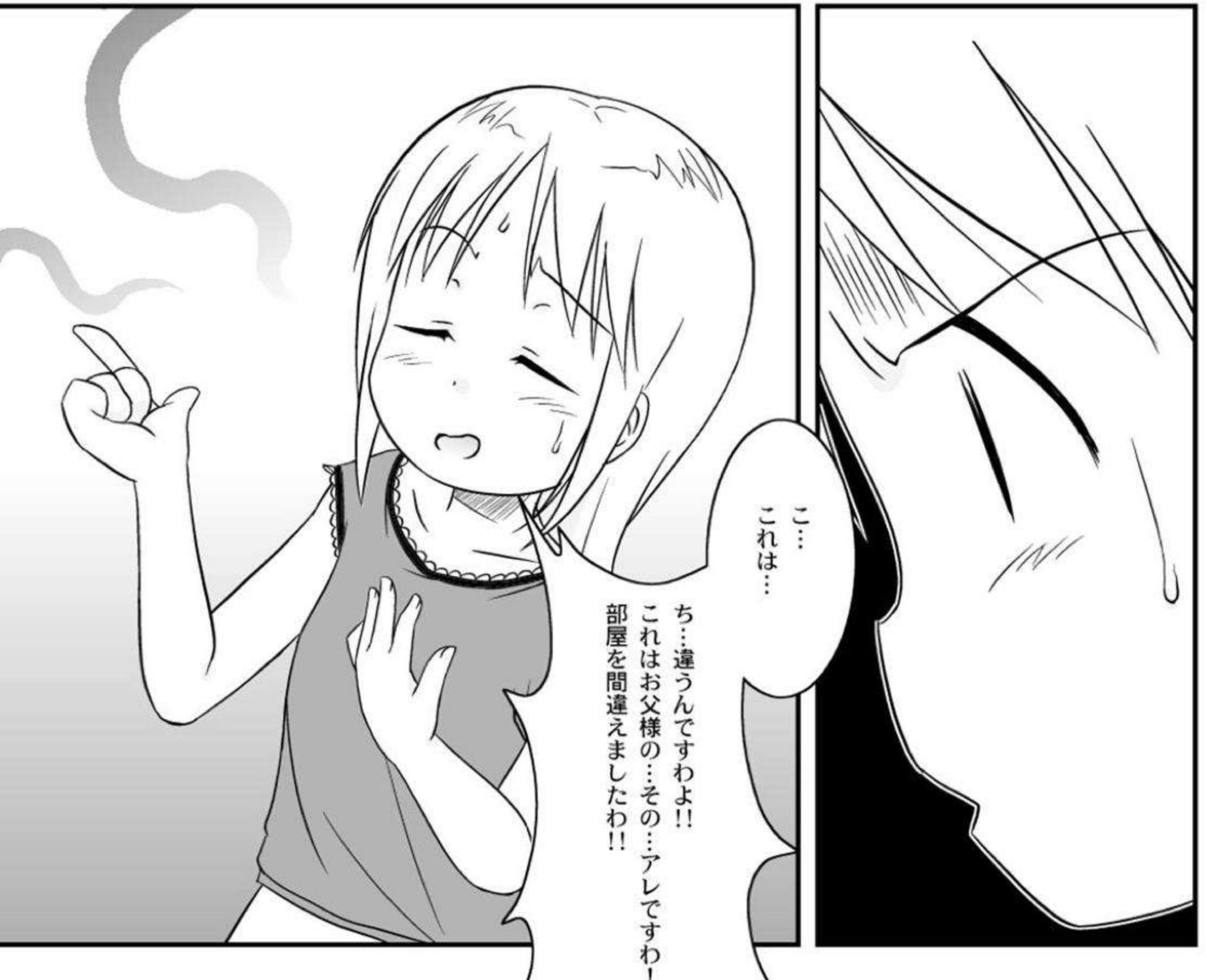


えろほん協力:桃桃白さま



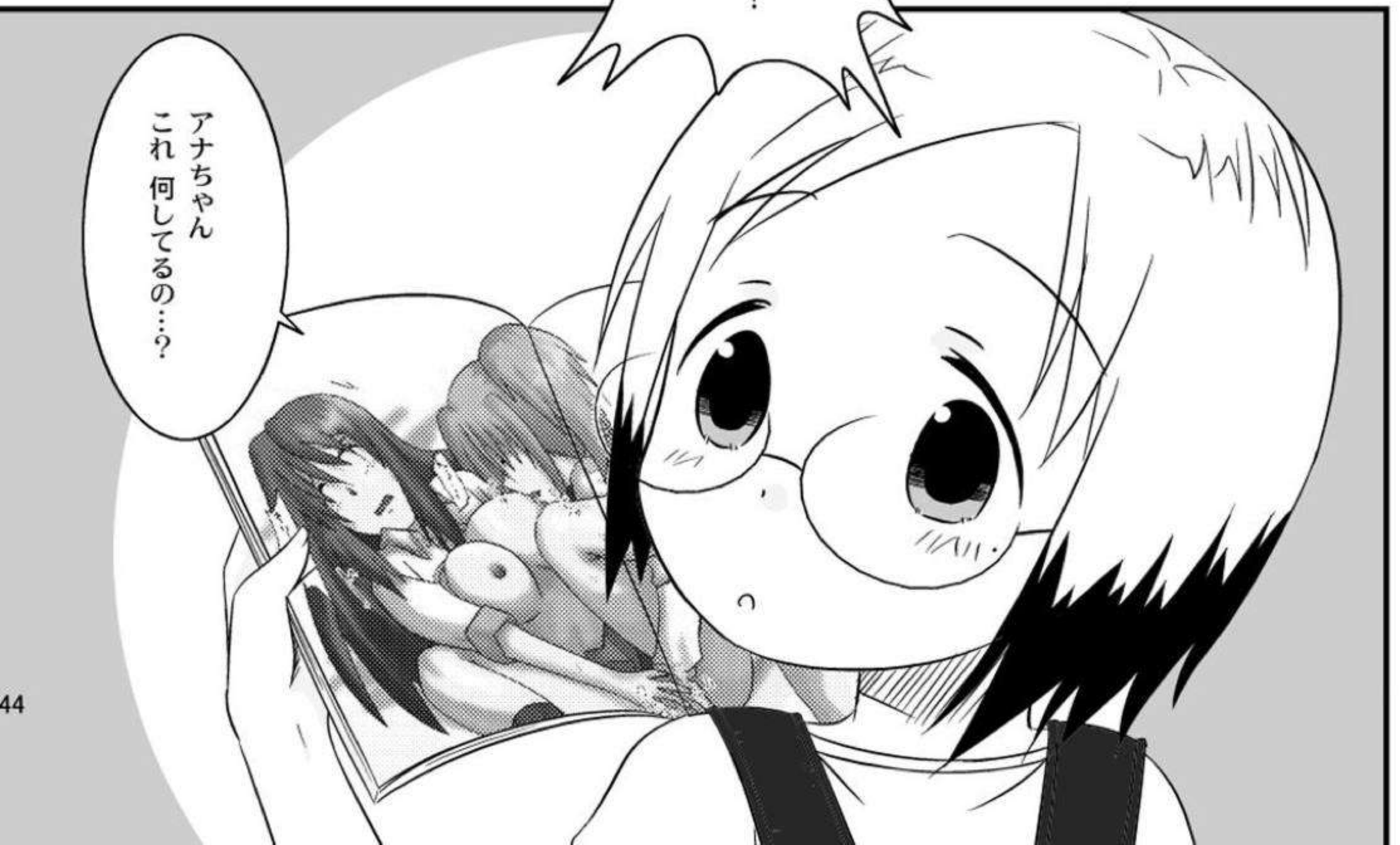




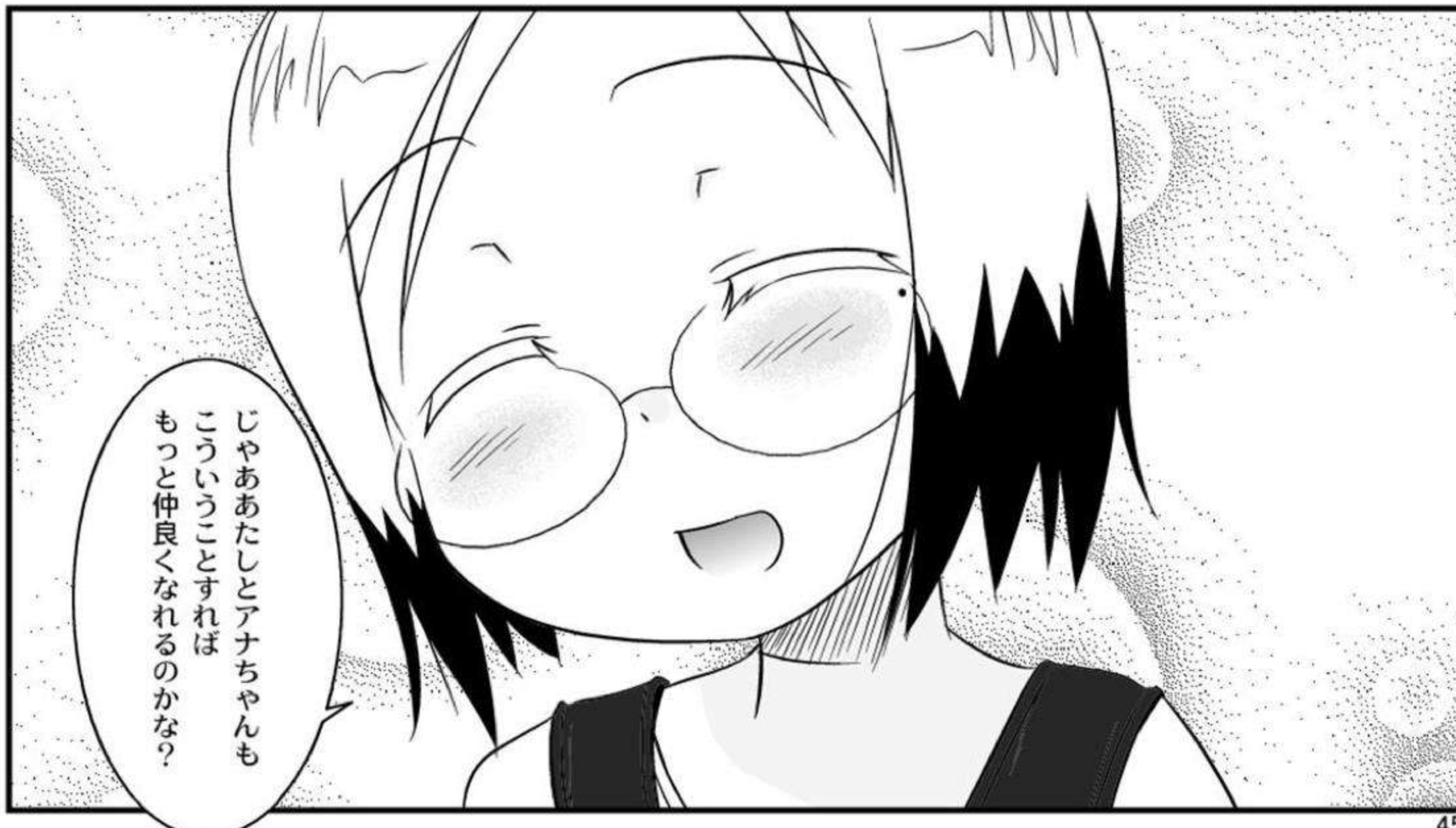
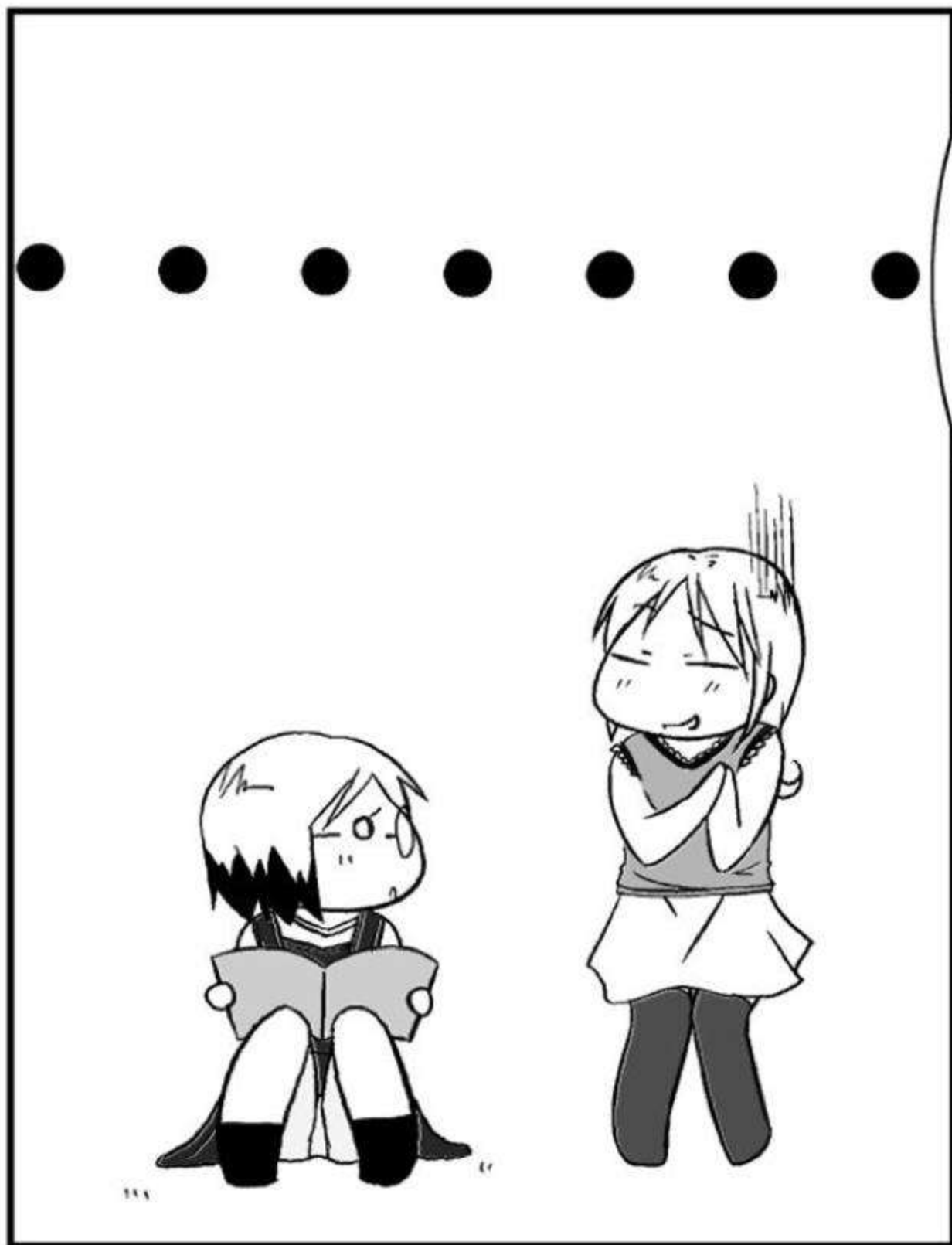


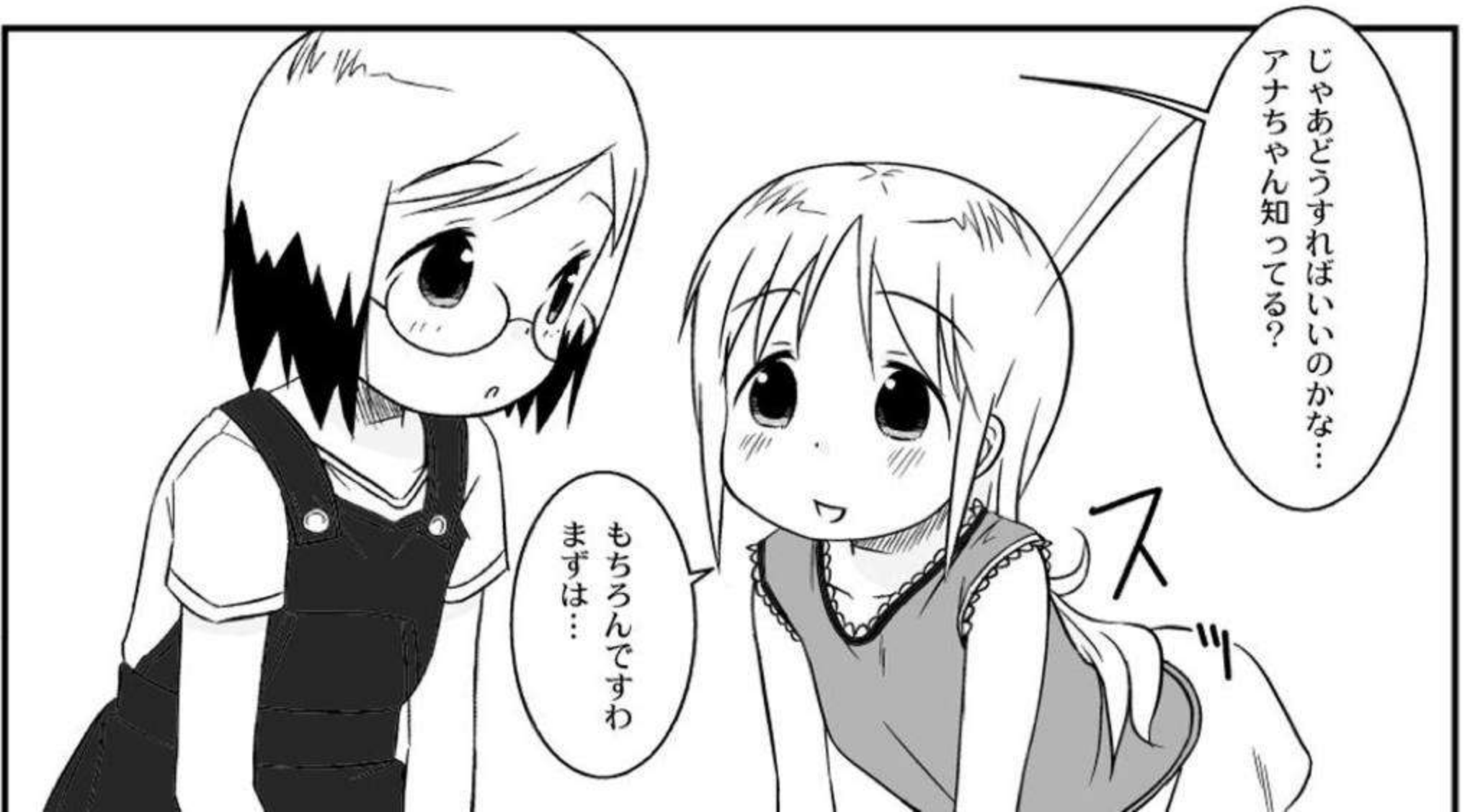
ち…違うんですわよ!!
これはお父様の…その…アレですわ!
部屋を間違えましたわ!!

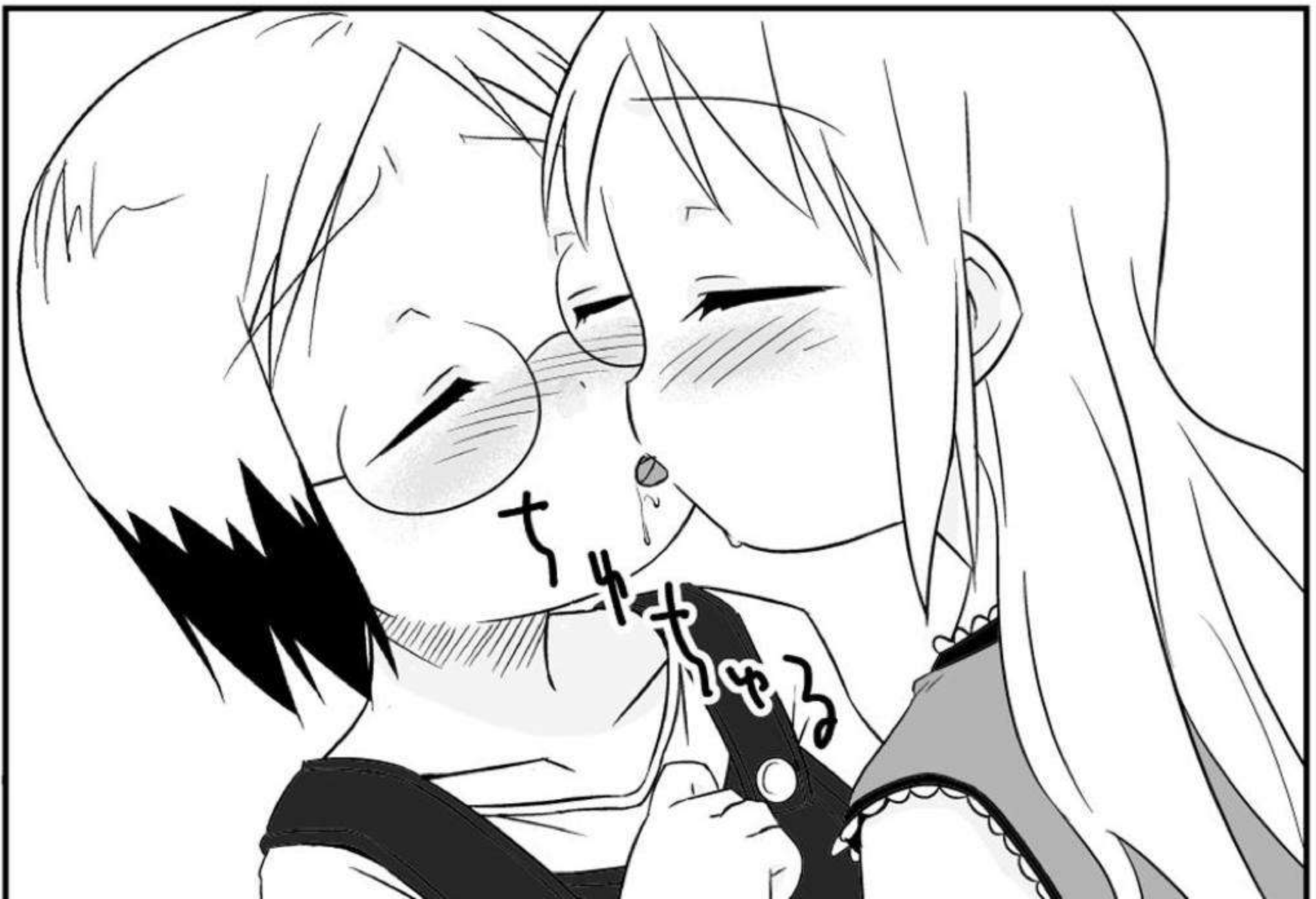
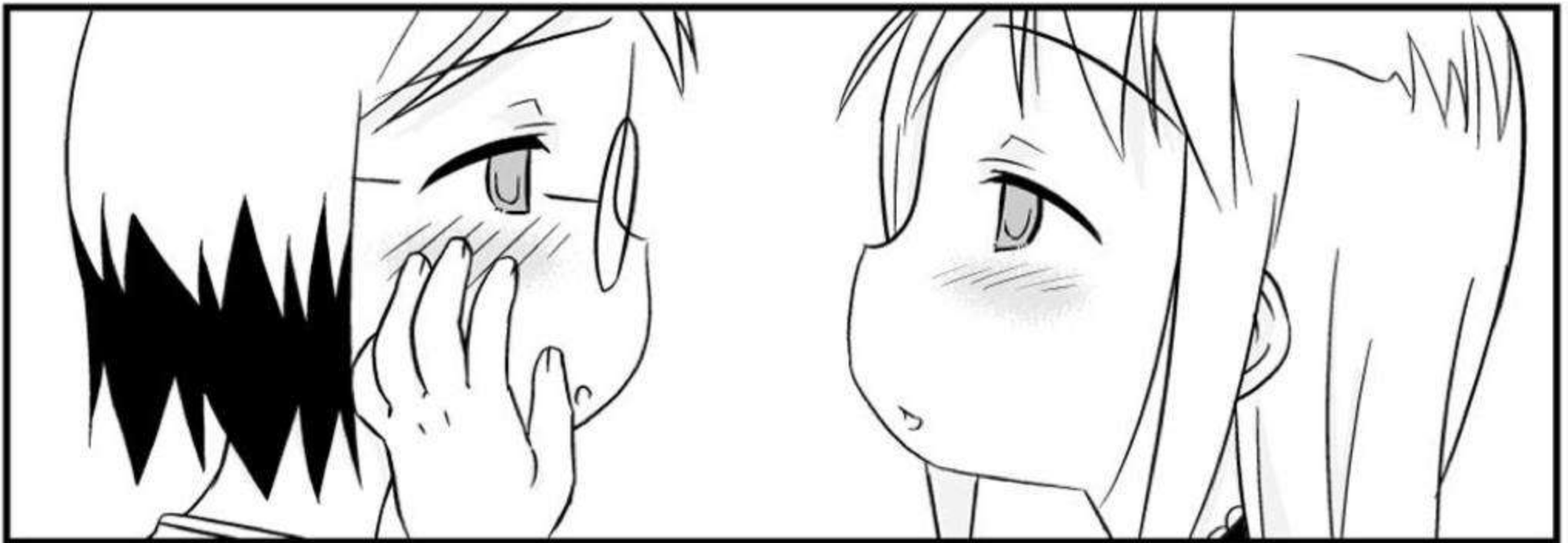
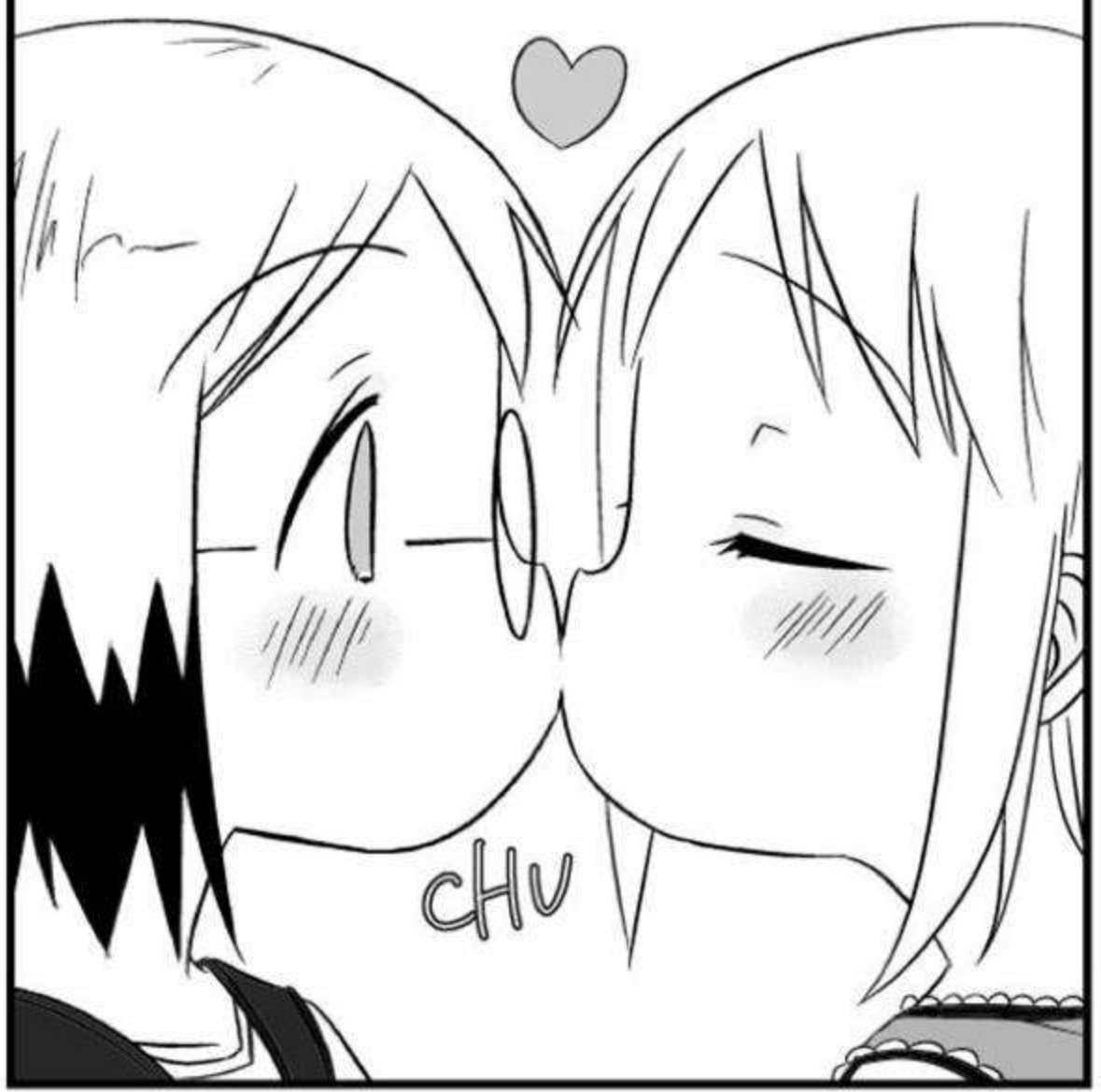
こ…
これは…



アナちゃん
これ何してるの…?







あら息止めてたのですわね
かわいいですわ

く…苦しかった…

ドキドキ



え…!?
え…?

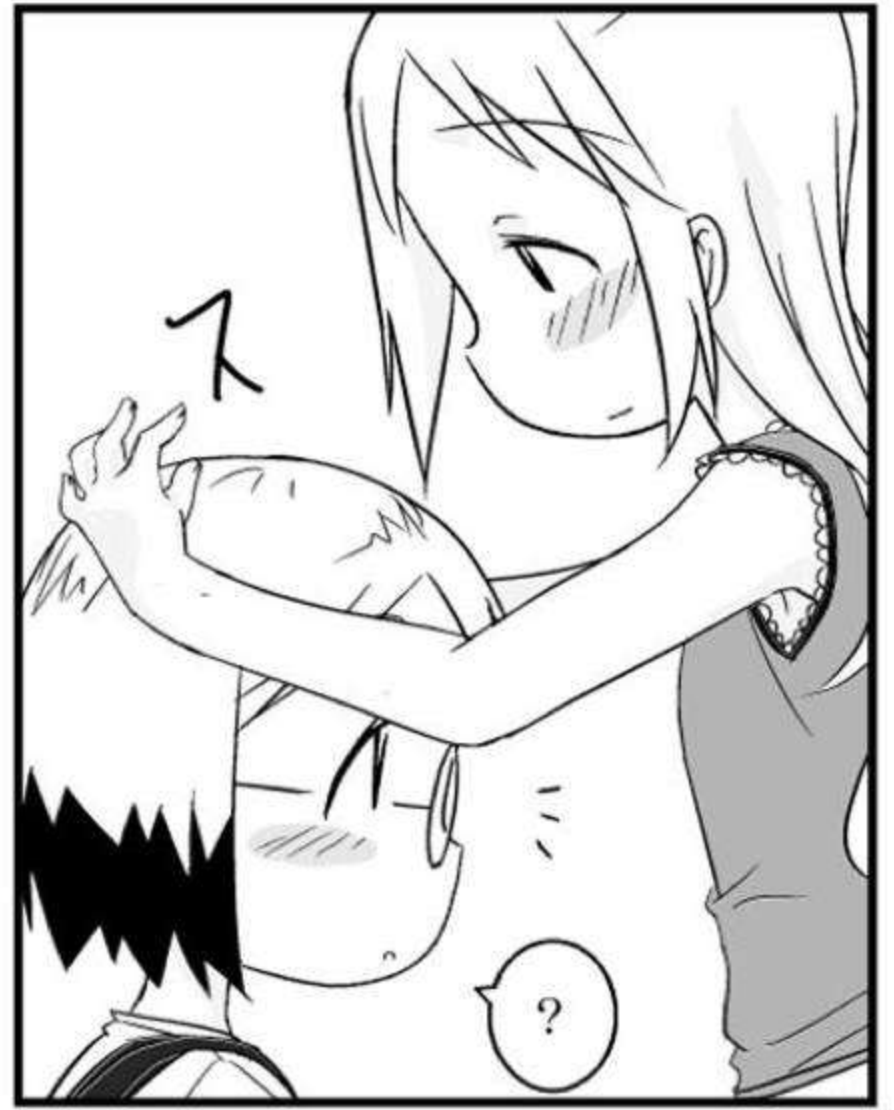
いえいえ
これからが本番ですわ

ス
IV











じゃあ次は…



舌をもっと奥のほうに
お願いしますわ



ん…気持ち良いですわ
茉莉さん…

ほんふお?

カッ
アッ



こおかな？

びく

ぽちゃぽちゃ
ゴロゴロ

びくっ



ふあああ！
ま茉莉さん！
だダメ：：！！

あッ...

はああん...っ！！

びんびん

やっ

びく

あーあーあーあー



ま茉莉さん
ゆ指でそんなに
こすったら...

びゅん
びゅん
びゅん

びゅん

ちゅぷちゅぷ

びゅん

ちゅくちゅく

あつ
ああた...し
また...

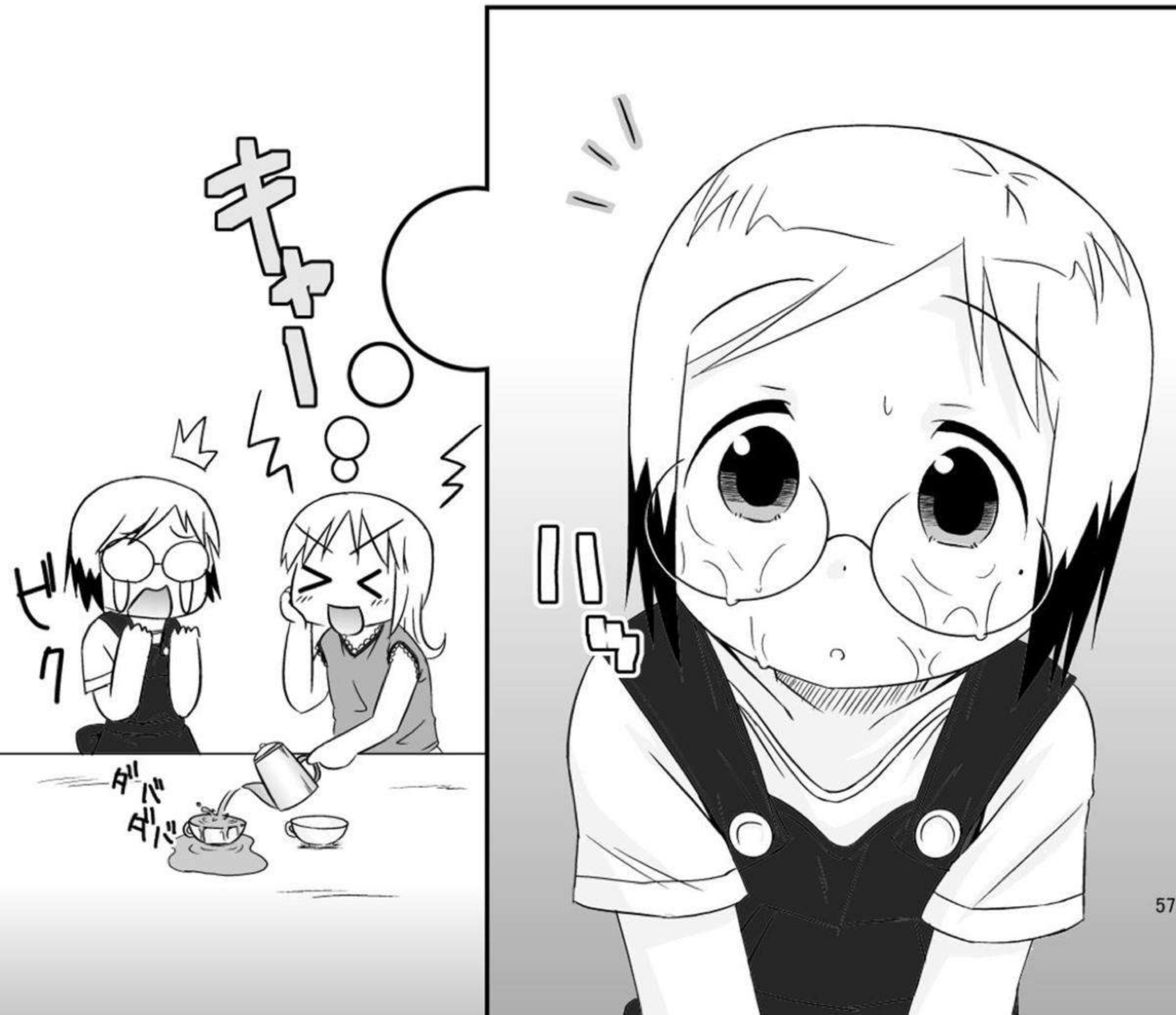
は...ッ

は...
ちゅ...

ふああああ!!!

びゅん





Episode.C 仲良しさん

はてさて、3作目になると「そろそろ茉莉ちゃんの出番だ」と、思い始めたみなさん、お待たせしました。
美羽を差し置いてアナ×茉莉ちゃん本です。
茉莉ちゃんは茉莉ちゃんです。特に変わったところの無い、至って普通の何の変哲も無い茉莉ちゃんなのですが、なぜかアナちゃんはエロキャラが似合うなあ勝手に想像。
アナちゃんが攻めると茉莉ちゃんが怖がって泣いちゃうので、ちょっと考えた末に純粋さを利用してやろう！！とか。
流れがあれば乗っちゃうのが茉莉ちゃんです。
「茉莉ちゃんは純粋無垢だなあ……」という気持ちでどうぞ！

Episode.D 伸×アナ！

残るは最後の砦のみ、いざ出陣！！
というわけにはいかず、美羽放置で伸×アナ本が4作目に。
アナちゃんの使いやすさにかわいさに目覚めたようです。
伸姉が攻めになりそうなところを力技で受けに。
この組み合わせだと、アナちゃん攻めのほうが燃えます。
というか、アナちゃんすっかりエロキャラに……
帰国子女？だし、少しくらい進んでいても違和感は無いです！
アナちゃんなら………きっとやってくれるはず！！
されるがままで、まさに言葉そのまんまの意味で
「下のお口は正直だな、うっへっへ」状態な伸姉と、
やたらめったら押しの強いアナちゃんの掛け合いをどうぞ。

あれ……ここ……

あたしの部屋……？

アナ……ちゃん……？

Episode.D

伸×ア+!



絵:紺野
話:夏実



おはようございます
おねえさま

ん...
ああ...おはよ...



ガムテで
固定

...

何っ!?





※Very Berry Mixより





ちよちよっどり?
アナちゃん



しゅる
しゅる
しゅる



大丈夫ですわ
あたしに任せて
下さいな

フツ



アナちゃん
どこでこんな...



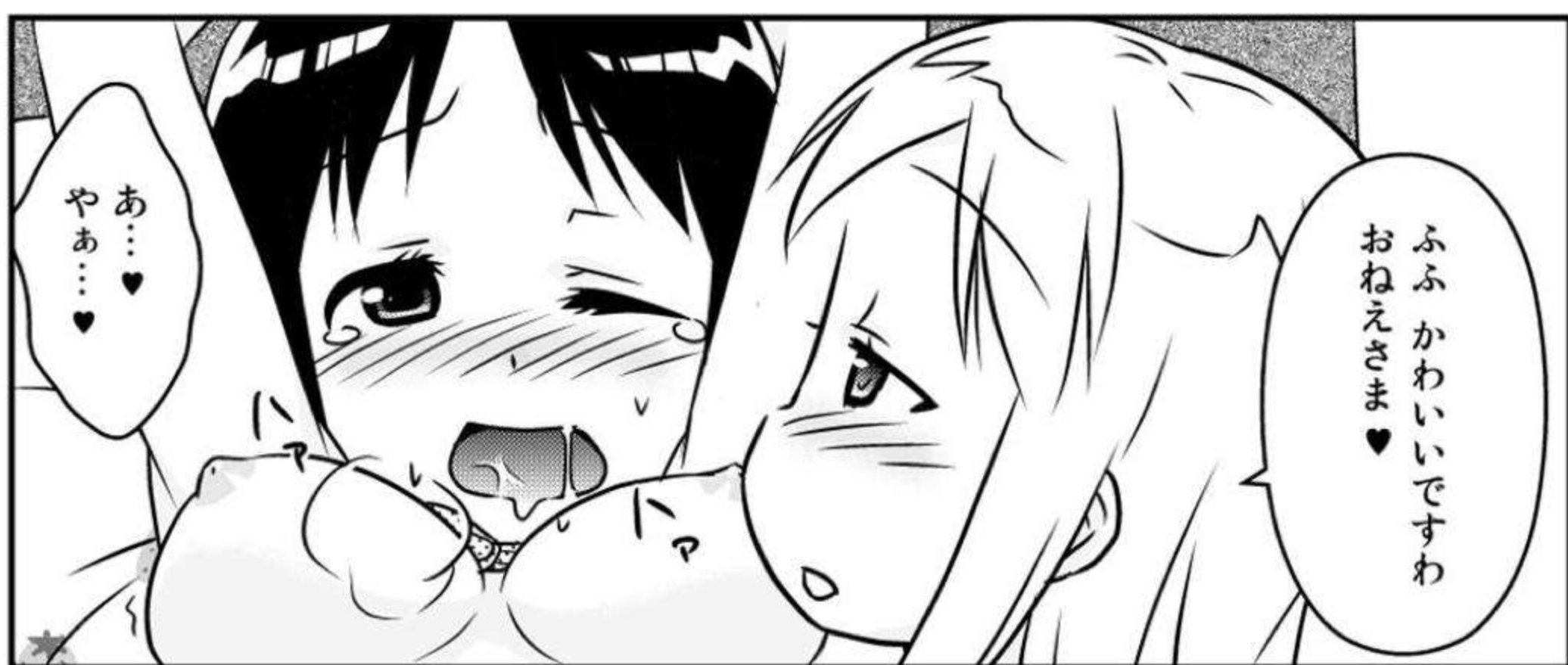
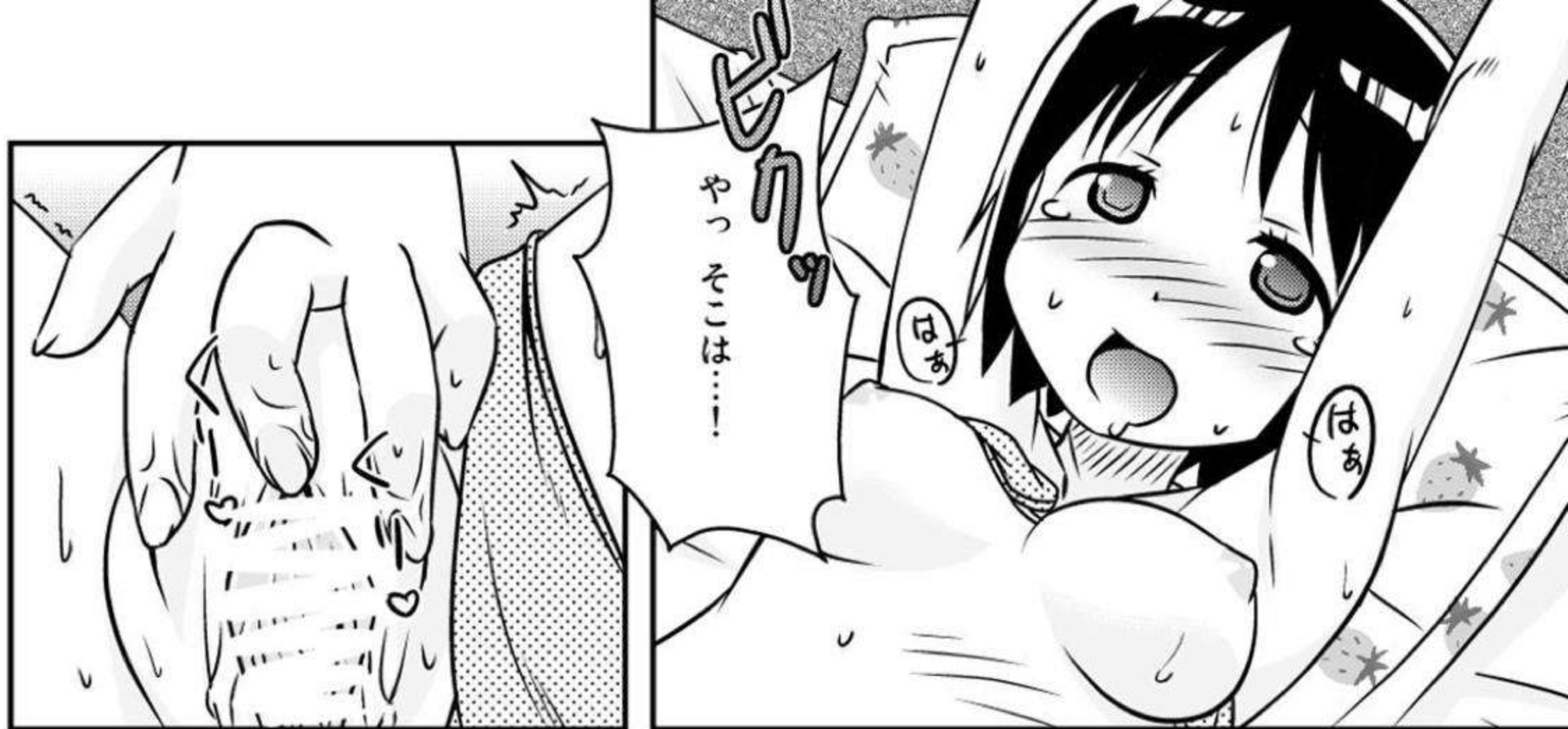
しゅる

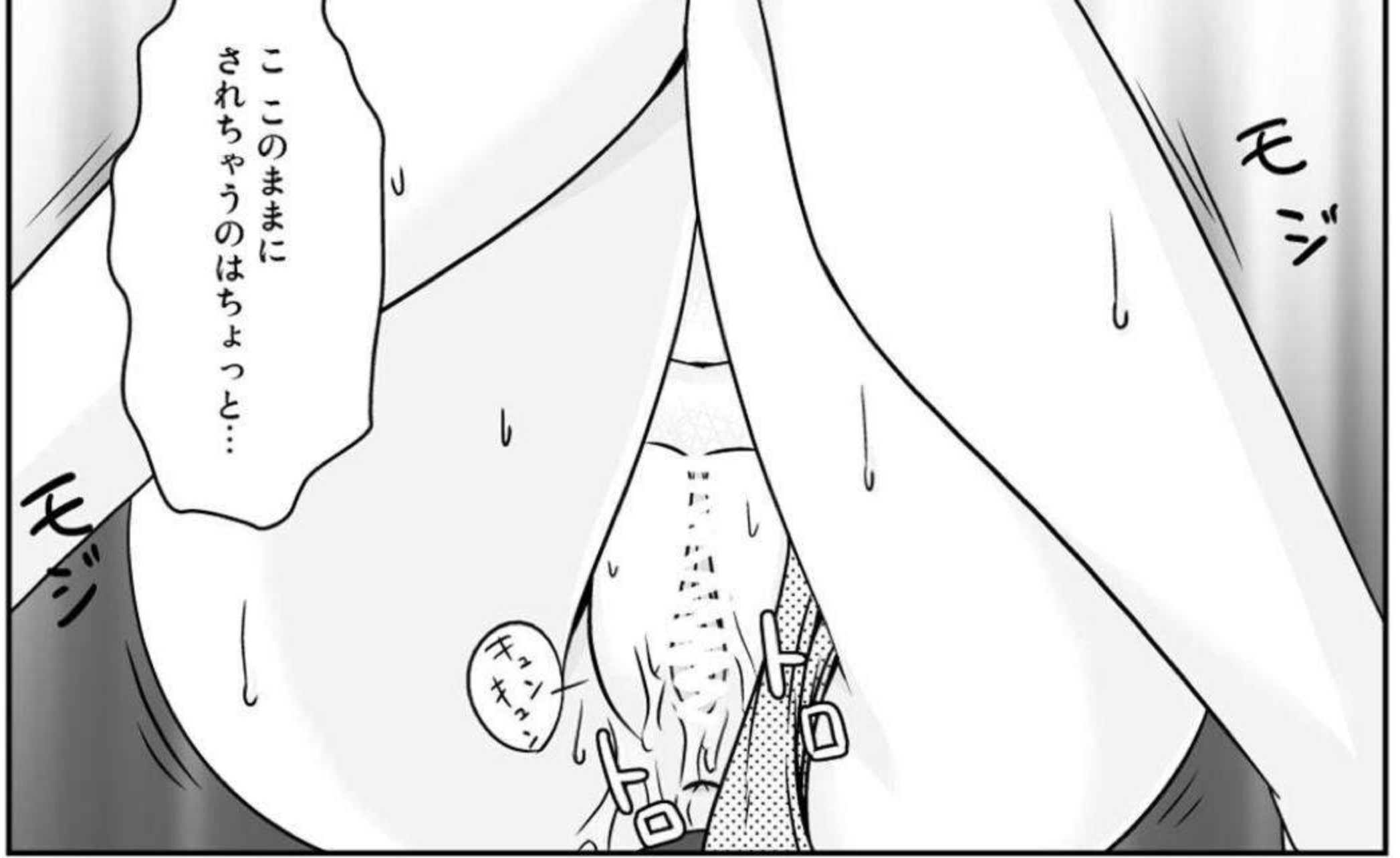


しゅる



うふふ 野暮なことは
言いつこなしですわ♪





このおききい
おれちやうのはちよと...

フ
ン

フ
ン

フ
ン

フ
ン

フ
ン



でも次は
あたしのほうも
お願いしますわ



ふふ 大丈夫ですわ
おねえさま♥





アッ

シューッ

びしょ

びしょ

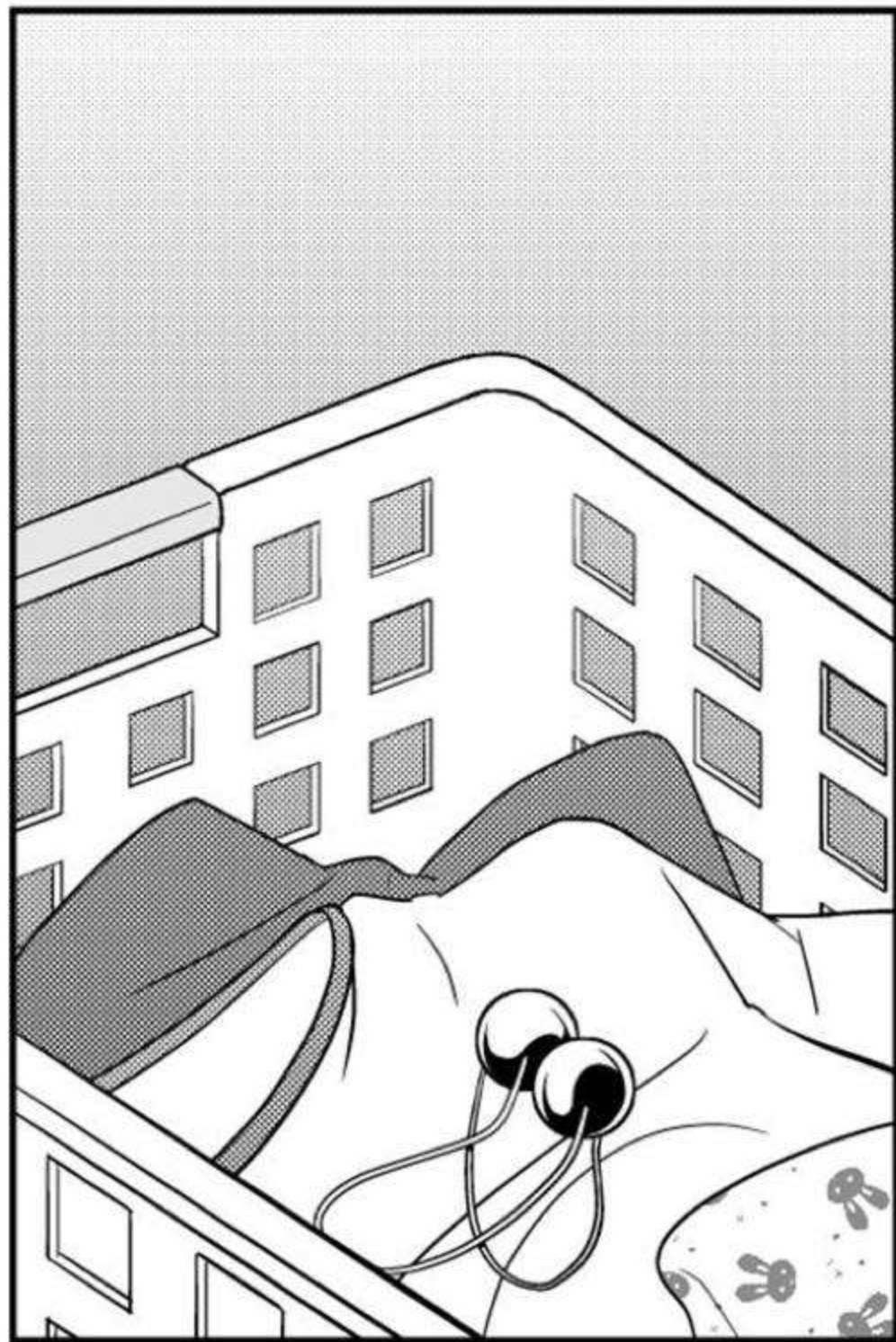
びしょ

びしょ...

びしょ

びしょ











大きくなって…
いいよそんなん



ちよちよちよ!
みっちゃん?!

ほら 揉んだら
大きくなるって
言うし



胸より腹が
出てる体型に
なってもいいの?

太



じゃ じゃあ
少しだけ…

よじきた

ちいちゃん
泡でぬるぬるすべすべで
やわらかいね
ちよちよちよ

ううんわん





大丈夫 ちゃんと
こっちもやってあげるから



もうすっかり
トロトロだね♪





ほら もう
こんな
に

み
みっちゃん...



か
あ
あ
ぬ
ち
や
ん



も
っ
と
お
願
い
...

は
あ

は
あ

ん
ん
ん
...

ほ
あ



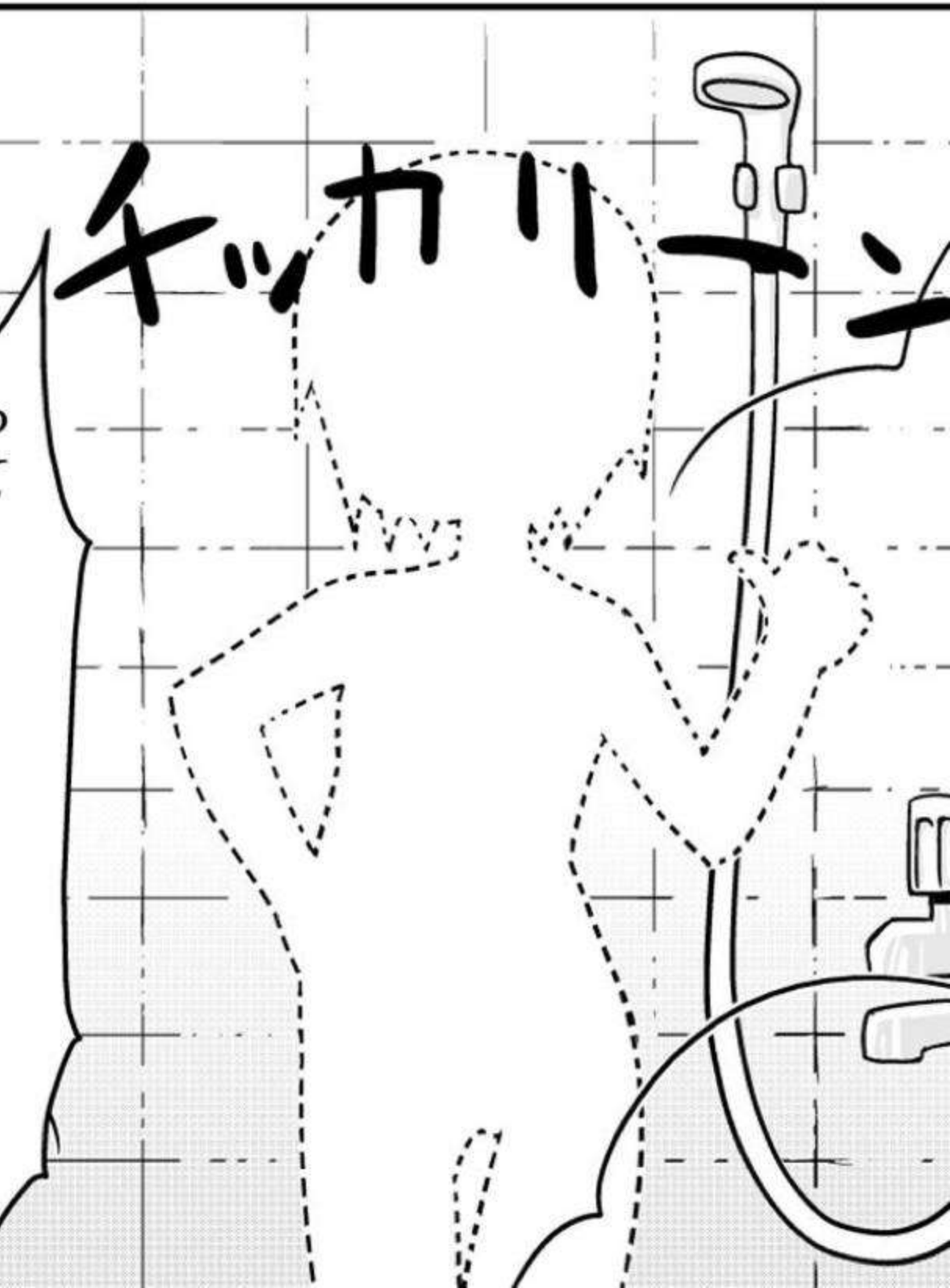


お風呂の心
ドキドキ
ドキドキ
ドキドキ

ドキ
ドキ
ドキ

ドキ
ドキ
ドキ

PPPP



わっ

ひびゃ

わっ

キタ

ドキ

じゃあ次は
あたしも……

もー
ちいちゃんてば……

ゴシゴシ

ガッ

ちいちゃんもういいねえ!!

って

キッカリ

律動混濁のストロベリー

夏実

「ちいちゃん、あたしすごい発明したよっ!」

「あーはいはい、わーすごーい、みっちゃんがすごい発明したんだってー。誰か聞いてあげてー」

「あたしはパス。アナちゃんお願い。そんなにすごいなら、アタシにや荷が重いかからさー」

「ええっ!? わたくしですの!? えーっと、茉莉ちゃん、にこっ♪」

「にこにこ♪」

「こらラボメンどもっ! そんなんじゃあ、組織にやられちゃうよ!?」

「……みっちゃん、今度はシュタインズゲートにハマったんだね。ドクペなら飲んだこと無いし、飲んでみたいかも」

「それは売ってなかったからコーラで我慢してる」

「こだわれよ! そういうところは!」

「ラボメンナンバー002よっ、細かいことを気にしすぎるとおっぱいが大きくなるぞ! ふわーっはっは!!」

「そこはまだこれからでしょう……あたしがナンバー002なんだ……ってことは、アナちゃんや茉莉ちゃん、お姉ちゃんもちゃんとラボメンの分担とかあるわけ?」

「ちいちゃん天才だな! ビシッ!! ラボメンナンバー004、助手!! コーラもってこい!!」

「あー? あたしが助手役かー。ヒロインだし、悪い気はせんけど。だがコー

ラはもってきてやらん」

「こ・れ・だ・か・ら・いつまで経ってもおっぱいが小さいのだ! ふわーっはっはっは!!」

ゴスツ

「……助手が組織の命令で攻撃してきた。3分で戻れなかったらカップめんは食べておいてくれ。アナ・クサイ・カレイシユウ!!」

「えーと、お姉さま、この狂気のマッドサイエンティストさん、再起不能にしてよろしいでしょうか?」

「おー、好きにやっというていいよー。なんなら電子レンジにほいっと放り込んでみて」

「お姉ちゃん、別にレンジでチンしなくても、みっちゃんってゲルっばいから意味無いと思うよ?」

「それもそうだったか。じゃあアナちゃん、いつものように呪い殺しておやりなさい」

「闇に惑いし哀れな影よ 人を傷つけ貶めて 罪に溺るる業の魂。イッペン……シンデミル……って、キャラが違いますわ、お姉さま」

「人を呪わばアナふたつって言うし、アナちゃんもうひとりいないと無理か……」

「こら! 助手、バイト戦士と仲良さそうに話すなんて、空気が読めていないぞ!!」

「ほーう、アナちゃんがバイト戦士の子かー。それならあたしは犬猿の仲にな

らないとダメかなー」

「お、おねえさま!? お、おそらく最終的にはとつても仲良しになると思うんですの。だから犬猿の仲になる必要はまったくありませんわ!!」

「こら、バイト戦士! 話を進めるなっ! ちいちゃんも何とか言ってるよ!」

「えー、あたしに振るんだ……って、ケンカの仲裁ならまだしも、ケンカするよに仕向けるっていうのはおかしいよ」

「くっ、もはやラボメンは組織に洗脳されてしまったようだ。残るラボメンはたった一人——」

「そーいや茉莉ちゃんは誰なんだろうな? たぶんシャイニングフィンガーあたりだと思うけど」

「というか、それぐらいしかないよね。猫耳メイドさんは茉莉ちゃんとキャラの距離がちょっと遠すぎるし」

「ですわね。ちょっと影のあるところなんて、茉莉ちゃんにぴったりだと思います。あとメガネという点も共通項として見逃せませんわね」

「巫女さんも捨てがたいけど、アレのほうは付いてないだろうしなあ、茉莉ちゃんには。あつたらあつたて茉莉ちゃんなら納得出来るような気もするけど」

「お姉さま、残念ながら茉莉ちゃんにはそのようなオプションはございませんでしたわよ……」

「おーい、お姉ちゃんもアナちゃんも、まだお日様カンカンの真昼間だぞー」

「ああ、茉莉ちゃんはシャイニングフィンガーだろうなあって話だぞ? ちいは何考えたんだか」

「ええ、ええ、それ以外の何者でもない会話ですわよ。6年生になってしまつと、汚れてしまつてすわね……」

「お、おまえらー……」

「えっ? えっ!? な、何のことなんだろう……」

「そんなことよりもっ! さあスーパーハカーよ、この反乱分子を根絶やしにするのだ!! ふーっはっはっは!!」

「その発想は無かった」

「まさか茉莉ちゃんがスーパーハカーっていうのがオチだったなんて……みっちゃん……」

「さすがマッドサイエンティストさんですわ。そのへんまで再現してください」

「みっちゃん萌え萌え。おまいら逝つてよし」

『茉莉ちゃん!』

「ふーはっはっは! さすが白髪!! とても空気を読んでいる!!」

「ちょっと……みっちゃん!!」

「うるさいブ女」

「なっ! き、貴様!! リーダーに向かってなんだ!! その口の利き方は!!」

「車にひかれてしまえ」

「……茉莉ちゃん、すごいこと言うね——って、ずいぶん懐かしいところからもってきたな……」

「あれはあれだ、黒歴史つてやつ。確かあたしの顔もだいぶ違つたし。若奈ちゃんはどこいっただし」

「うううっ……わたくし、そのころにはまだ生を受けていなかった気がします」

……」

「えっと、美羽ちゃん？ 次は何て言ったらいいのかな？」

「こらスーパーハカー！ そういうオフレコなことは皆の前で言うてはダメだ!! ふーっわっはっはっは!!」

「あつ、えつ、ごめんね……お姉ちゃん、どうしよう……」

「おーよしよし、ちよつとかわいそうな子にかわいそうなことさせられてかわいそうな茉莉ちゃん、よしよし」

「まったくですわ!! それに、マッドサイエンティストさんがさっぱりキャラが掴めていなくて乗るに乘れませんわよ」

「あーうん、確かに。みっちゃんアレだよ。実はそこまで深い知識が無いニワカってやつだよ。——って、アレ？ みっちゃんどこいくの？」

「孤高のマッドサイエンティストは崇高なる実験の準備のためにラボに戻る！ ふーっはっはっは!!」

バタン

「あーあー……ちいのせいで美羽が出て行っちゃったぞ。あたしは助手だけど、美羽とは出会わない世界線の助手だから放っておくけど」

「えーっと、わたくしも未来から過去に来ていない世界線のバイト戦士なので、特に追いかける必要性を感じませんね」

「みっちゃんハアハア、とかちゃんと言った方が良かったのかな……」

「!! そういえば!! そういえばですわよ!? 茉莉ちゃんがわたくしのパパですわね!!」

「えっ!? えっ!! えーっ!!! わ、私はアナちゃんのパパだったの!？」

「うんむ。アナちゃんは実は未来から来ていてな。パパである茉莉ちゃんに会いに来たんだよ」

「そ、そうだったんだ!? てっきり、パパは男の人しか無理だと思っていたから、ちよつとびっくり……」

「だいじょうぶですわ、茉莉ちゃん。世の中には『ふたなり』や『男の娘』という、便利な言葉がございますからね」

「おーい。茉莉ちゃん真に受けちゃうよー? みっちゃんよりノリノリなんだから、まったくもう……」

「う、うん、わかった! 私『ふたなり』や『男の娘』になれるようにがんばってみるっ!!」

「茉莉ちゃん、よく言った!! 感動した!!」

「おーい……リアクション間違えてるような気がするんですけどー……」

ふいーん——ふいーん——ふいーん——

「あ、ケータイ鳴ってる……って、あたしのだ……そしてなぜみっちゃんから……?」

「ちいも美羽もスマホだもんなあ。どうせろくでもないアプリでタッチしてぶひ言ってるんだろうなあ」

「ふ、不潔ですよ! 千佳さん! そんなアプリは良くないので、今度教えてください!!」

「えーっと……じゃあ、私も後で教えてほしいかな……?」
「いや、みっちゃんは知らんけど、あたしはしてないぞ……。そして茉莉ち

やんの目がキラキラしてるんですけど……」

「あー、茉莉ちゃんはスマホもってないでしょ？ あたしがあとで直接教えてあげるから」

「お姉さま！ ぜひわたくしも一緒に複数で——」

「う、うん！ じゃああとで身体にたっぷり教えてね？」

「おーい、君たちー……ってというか、茉莉ちゃんまで……」

「それはそうと、ちい、美羽からのメールはなんだって？」

「あっ、忘れかけてた。えーっと……『いつもお前を見ているぞ』だって。添付ファイルもちゃんとあるし……」

「美羽さん、ニワカを突かれてちょっと悔しかったのでしょうか？ でも添付ファイル、開くのは勇気がいらしますね」

「だなあ。この前の風呂での一件、隠し撮りでもされてたんじゃないのー？」

「なっ!? き、気付いてたの!? っていうか、そういうやましいことは一切してないし!!」

「だーれもやましいことーなんて言ってないのに、ちいは素直だなあ。ね、茉莉ちゃん？」

「……ほっ」

「ま、茉莉ちゃんも『ポッ』ってなんだー!! ああもう!! それはそれとして、添付添付! どれどれー」

「添付で送られてきたということは、よほどの自信のある一枚ということになりますわね……ごくり。まさか昇り詰めた瞬間の……」

「……あっ……」

「おっ、ちい、どした？ 想像してたりアクションとだいぶ違うけど」

「あー……うん、これ……」

「えーっと、『いつもお前を見ているぞ。誕生日おめでとう』添付ファイルはケーキの写真、ですわね」

「わあっ! 美羽ちゃん、すごーい!! サプライズだね、千佳ちゃん」

「なあ、ちい……」

「うん……ありがたいんだけど……」

「ありがたいんですけど？」

「あたしの誕生日、もう半年以上前なんですけど……」

「いや、まて、ちい。ちゃんとメール送信の日付を確認してみよう」

「ええ、そうですね。もしかしたら未来からメールかもしれないわよ!」

「えっ? みんなのケータイ、そんな機能がついてるの!?!」

「……つい3分前の送信で間違いないよ」

『ですよー』

ガチャ

「ちいちゃん、お姉ちゃん、シャーペンの芯ちようだいってメールきたよ、お兄ちゃんから」

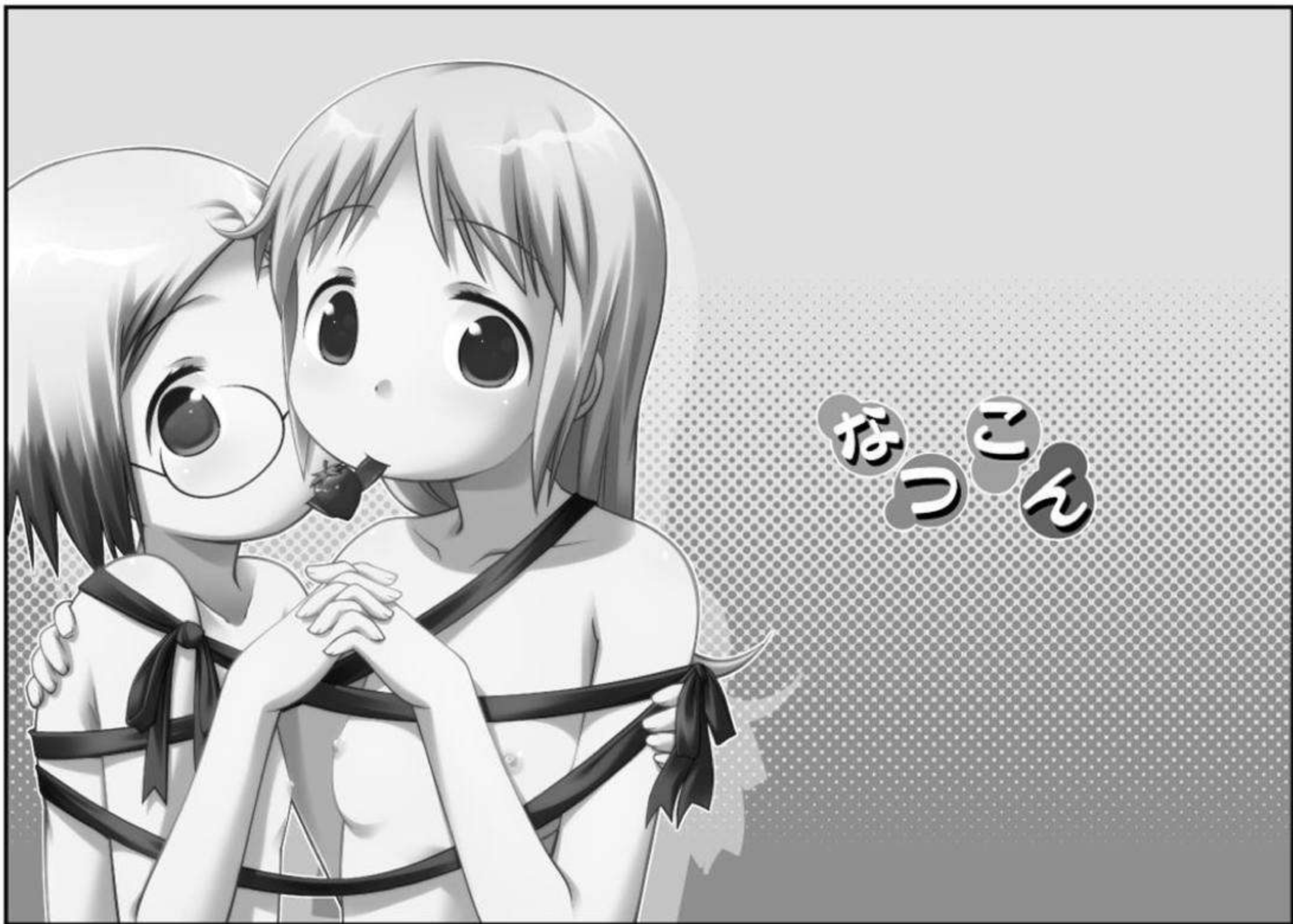
「それこそ違う世界線の話だー!!」



■お姉ちゃんといっしょ - 初作品。もっとクリームべっとりにすべきと反省

■VeryBerryMix - 当時流行ってたアレ。ど真ん中の美羽がらしく描けた気がする





■桜木さんとコッポラさん - キャラでかすぎだよ！ タイトルロゴはいんねえよ！

■伸×アナ！ - 横型にてっかく紙面を使うのもアリ？ という意欲作。結論的には普通に縦にすべき





なつごん